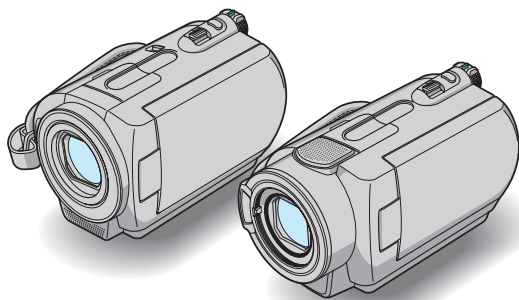
SONY®

3-093-315-02(1)

デジタルビデオカメラレコーダー

HANDYCAM®

ハンディカム ハンドブック

DCR-SR62/SR300

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本機には2種類の取扱説明書があります。

「取扱説明書」(別冊)と「ハンディカム ハンドブック」(PDF/本書)では、本機の操作方法や取扱いについて記載しています。

本機で使える"メモリースティック"について

本機では、MEMORY STICK DUO(“メモリースティックデュオ”)、MEMORY STICK PRO DUO(“メモリースティック PRO(プロ) デュオ”)マーク付きの“メモリースティック デュオ”が使えます(詳しくは105ページ)。

“メモリースティック デュオ”(本機で使用するサイズ)

“メモリースティック”(本機では使用できません)

- “メモリースティック デュオ”以外のメモリーカードは使用できません。
- “メモリースティック PRO”、“メモリースティックPROデュオ”は“メモリースティックPRO”対応機器でのみ使用可能です。
- “メモリースティック デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどは貼らないでください。

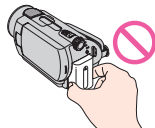
“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器で使用する場合

必ず“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。

メモリースティック デュオ アダプター

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

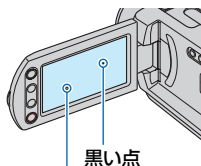
- 次の部分をつかんで持たないでください。

液晶画面

バッテリー

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください(108ページ)。
- 本機の電源ランプ(22ページ)やアクセスランプ(22、26ページ)が点灯中に次のことをすると、ハードディスクが壊れたり、記録した映像が失われる場合があります。
  - 本機からバッテリーやACアダプターを取りはずす
  - 本機に衝撃や振動を与える
- USBケーブルなどで接続する場合、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。
- ACアダプターをハンディカムステーションから抜くときは、DCプラグとハンディカムステーションを持って取り外してください。
- 本機をハンディカムステーションに取り付けたり、取り外すときは、必ず本機の電源を切ってください。

メニュー項目、液晶画面およびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目などは、その撮影/再生条件では使えません(同時に選べません)。

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

黒い点

白や赤、青、緑の点

- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 本機で記録した画像以外は動画、静止画ともに本機では再生できません。本機以外のDCR-SR62/SR300で記録した画像も本機では再生できません。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものと異なります。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
- 特に機種別の説明が必要なところを除き、本書のイラストはDCR-SR300をモデルにしています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カールツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイス レンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイス レンズとしての品質を維持しています。

またDCR-SR300に搭載されたレンズはT＊コーティングを採用しており、不要な反射を抑え、忠実な色再現性を実現しております。

* Modulation（モジュレーション） Transfer（トランスファー） Function（ファンクション）の略。コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

ハードディスクハンディカム取り扱い上のご注意

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを保存してください。画像データはパソコンを使ってDVD-Rなどのディスクに保存することをおすすめします（73、86ページ）。ビデオ、DVD/HDDレコーダーで画像データを保存することもできます（43ページ）。
- 撮影後は定期的に保存することをおすすめします。

本機に振動や衝撃を与えないでください

- 本機のハードディスクが認識されなくなったり、記録や再生ができなくなることがあります。
- 特に撮影/再生中は衝撃を与えないでください。撮影終了後もアクセスランプが点灯し続けている間は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- ストラップベルト（別売り）を使用中は、本機を物にぶつけないようにしてください。

落下検出について

- 落下による衝撃から内蔵ハードディスクを保護するため、本機は［落下検出］機能（61ページ）を搭載しています。そのため、本機が落下状態になったり、無重力状態になると、ハードディスク保護のための動作音が録音されることがあります。また、繰り返し落下状態を検出した場合は、撮影や再生が停止することがあります。

バッテリー/電源アダプターに関するご注意

- アクセスランプ点灯中に次の行為は避けてください。故障の原因となります。
  – バッテリーを取り外す
  – ACアダプターを取り外す（ACアダプターから電源供給時）
- バッテリーやACアダプターは、電源スイッチを「切」にしてから取り外してください。

本機の温度に関するご注意

- 本機の温度が高すぎたり、低すぎたりすると、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面にメッセージが表示されます（100ページ）。

パソコンと接続したときのご注意

- パソコンから本機のハードディスクをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。

高地などでの使用に関するご注意

- 気圧の低い場所（海抜3,000メートル以上）では本機の電源を入れないでください。ハードディスクを破損する恐れがあります。

本機の廃棄/譲渡に関するご注意

- 本機で［初期化］（47ページ）やフォーマットを行っても、ハードディスク内のデータは完全には消去されないことがあります。本機を譲渡するときは［データ消去］（49ページ）を行って、ハードディスク内のデータの復元を困難にすることをおすすめします。本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

画像が正しく記録/再生されないときは［初期化］してください

- 長期間、画像の撮影/消去を繰り返していると、本機のハードディスク内のファイルが断片化（フラグメンテーション）されて、画像が正しく記録/保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存（35ページ）したあと、［初期化］（47ページ）を行ってください。
  フラグメンテーション ☞ 用語集（119ページ）へ

目次

本機で楽しむために

準備する

撮る/見る

編集する

記録メディアを使いこなす

本機の設定を変える

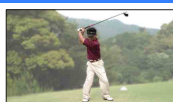
パソコンとつなぐ

困ったときは

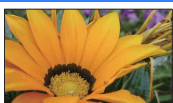
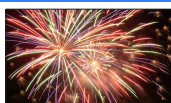
その他

各部のなまえ・用語集・索引

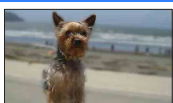
「やりたいこと」から探す目次

ゴルフのスイングをチェックしたい

ゲレンデや浜辺できれいに撮りたい

動画撮影中に静止画も撮りたい

ステージ上の子供の顔がライトで白くなってしまう

花をアップでくっきり撮りたい

花火をきれいに撮りたい

画面左の犬にピントを合わせたい

暗い部屋で子供の寝顔をきれいに撮りたい

* DCR-SR300
**DCR-SR62

使いかたの流れ

▶準備する(12ページ)。

▶本機で撮影する(22ページ)。
動画はハードディスクに、静止画はハードディスク、"メモリースティック デュオ"に記録することができます。

▶再生する。

■ 本機の液晶画面で見る(29ページ)。
■ テレビにつないで見る(33ページ)。

▶撮影した画像を保存する。

■ パソコンを使ってDVDに保存する(73、86ページ)。
■ パソコンに取り込む(78ページ)。
■ ビデオ、DVD/HDDレコーダーにダビングする(43ページ)。

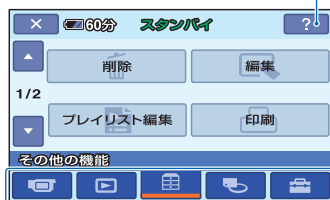
▶画像を削除する。
本機のハードディスクがいっぱいになると、新しい画像を撮影できなくなります。パソコンやDVDに保存済みのデータは本機から削除しましょう。削除してできたハードディスクの空き領域に再び画像を記録できます。

■ 画像を選んで削除する(36ページ)。
■ すべての画像を削除する(47ページ)。

「ホーム」と「オプション」

ー2種類のメニューで本機を使いこなす！

「ホームメニュー」は、操作の出発点

(ヘルプ)
項目の内容を知りたいときに使います(10ページ)

カテゴリー

▶ホームメニューのカテゴリーと項目

(撮影)カテゴリー

項目	ページ
動画*	23
静止画*	23
なめらかスロー録画**	28

(画像再生)カテゴリー

項目	ページ
V.インデックス*	29
プレイリスト	40

(その他の機能)カテゴリー

項目	ページ
削除*	36
編集	38、39
プレイリスト編集	40
印刷	44
パソコン接続	69

(HDD/メモリー管理)カテゴリー

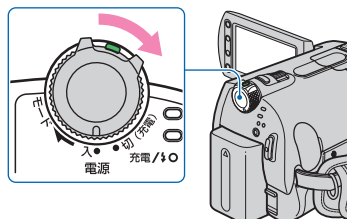
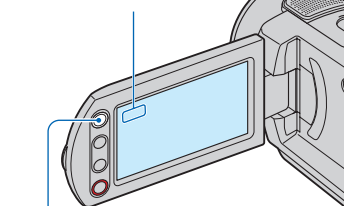
項目	ページ
初期化*	47
初期化*	48
情報	48

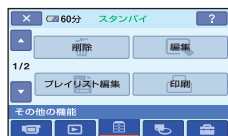
(設定)カテゴリー

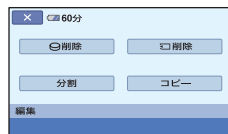
お買い上げ時の設定の変更など、さまざまな設定ができます(50ページ)。

* シンプル操作(19ページ)中も設定できます。
(設定)カテゴリーで使える項目について詳しくは、51ページをご覧ください。
** DCR-SR300

ホームメニューの使いかた

1 電源スイッチをずらして、本機の電源を入れる。

2 🏠（ホーム）ボタンA（またはB）を押す。

3 希望のカテゴリーをタッチする。

例）（その他の機能）カテゴリーのとき

4 希望の項目をタッチする。

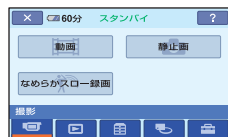
例）[編集]のとき

5 本機の表示にしたがって設定する。

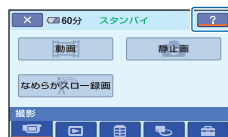
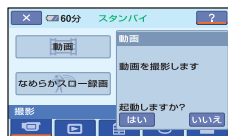
ホームメニュー画面を消すには

✕マークをタッチする。

▶ホームメニューの各項目を見るには－ヘルプ

1 🏠（ホーム）ボタンを押す。

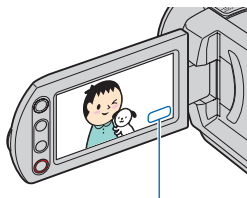
ホームメニューが表示されます。

2 ?（ヘルプ）をタッチする。

?（ヘルプ）ボタンの下辺がオレンジ色に変わります。

3 内容を知りたい項目をタッチする。

タッチした項目の内容が表示される。
その項目を実行するには[はい]、実行しないときには[いいえ]をタッチする。

ヘルプを解除するには

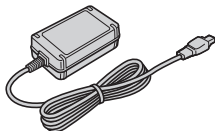
手順**2**で [?] (ヘルプ)をもう1度タッチする。

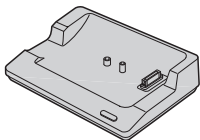
オプションメニューを使うには

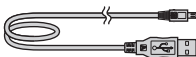
撮影、再生中など、その状況で使える機能を表示して、気軽に設定できます。詳しくは62ページをご覧ください。

(オプション)ボタン

準備1:付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
(　)内は個数。

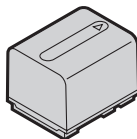
ACアダプター(1)(13ページ)

電源コード (1)(13ページ)

ハンディカムステーション(1)(13ページ)

AV接続ケーブル (1)(33、43ページ)

USBケーブル (1)(44、74、78ページ)

ワイヤレスリモコン (1)(115ページ)

ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

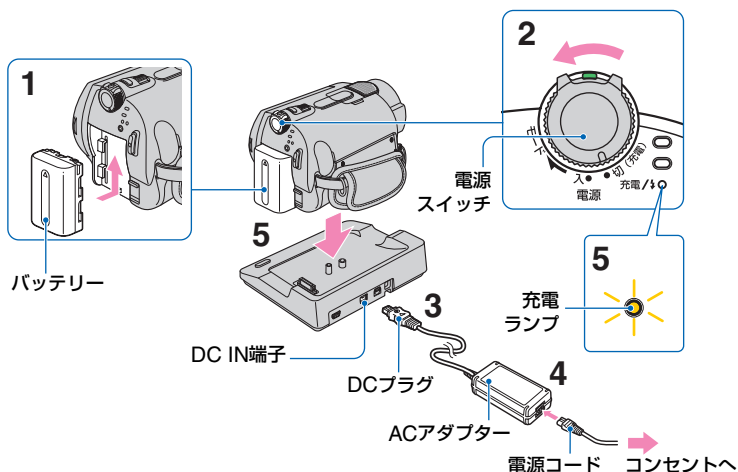
リチャージャブルバッテリーパック NP-FH40(1)(13、107ページ)(DCR-SR62)

NP-FH60(1)(13、107ページ)(DCR-SR300)

CD-ROM「Handycam Application Software」(1)(69ページ)

– 「Picture Motion Browser」(ソフトウェア)
– 「ハンディカム ハンドブック」(本書)

取扱説明書 (1)

保証書 (1)

準備2：バッテリーを充電する

専用の"インフォリチウム"バッテリー（Hシリーズ）（107ページ）を本機に取り付けて充電します。

ご注意

- "インフォリチウム"バッテリーHシリーズ以外は使えません。

1 バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして取り付ける。

2 電源スイッチを「切（充電）」（お買い上げ時の設定）にする。

3 DCプラグの▲マークを上にして、ハンディカムステーションのDC IN端子につなぐ。

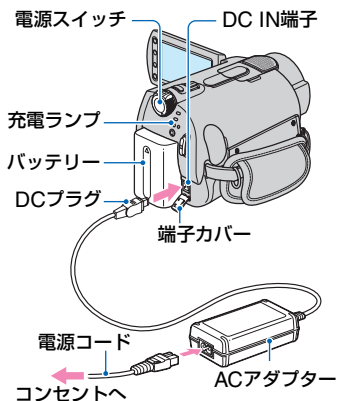
4 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

5 本機をハンディカムステーションに図の向きで奥まで確実に取り付ける。

充電ランプが点灯し、充電が始まる。充電ランプが消えると充電が終了します（満充電）。

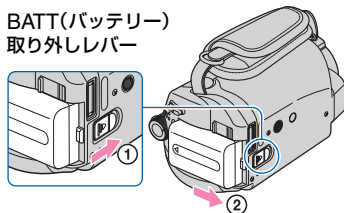
- 本機をハンディカムステーションに取り付けるときは、本機のDC IN端子のカバーを閉じてください。

ACアダプターのみで充電するには

電源スイッチを「切(充電)」にした状態で、本機のDC IN端子に直接ACアダプターをつないで充電する。

ご注意

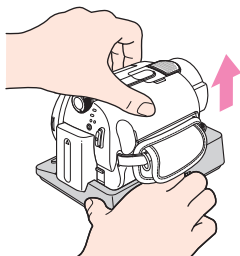
- ACアダプターを抜くときは、本機とDCプラグを持って抜いてください。

バッテリーを取りはずすには

電源スイッチを「切(充電)」にする。
BATT(バッテリー)取り外しレバーをずらしながら、バッテリーを取り外す。

ご注意

- バッテリーやACアダプターは、本機の(動画)ランプ/ (静止画)ランプ(22ページ)が点灯していないことを確認してから取り外してください。

本機をハンディカムステーションから取り外すには

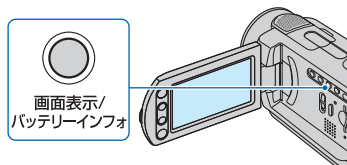
電源スイッチを「切(充電)」にして、本機とハンディカムステーションを持って取り外す。

保管するときは

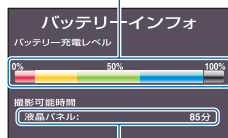
長い時間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管する(107ページ)。

コンセントからの電源で使うには

充電するときと同じ接続で使う。
バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

バッテリーの残量を確認するには

電源スイッチを「切(充電)」にしたあと、画面表示/バッテリーインフォボタンを押す。

しばらくすると、バッテリーの情報が約7秒間表示されます。情報が表示されている間にボタンを押すと、最大20秒まで表示を延長できます。

およそのバッテリー残量

およその撮影可能時間

充電時間（満充電）

使い切った状態からのおよその時間（分）。

バッテリー型名	満充電時間
NP-FH40*	125
NP-FH50	135
NP-FH60**	135
NP-FH70	170
NP-FH100	390

* DCR-SR62付属
** DCR-SR300付属

撮影可能時間

満充電からのおよその時間（分）。

DCR-SR62:

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-FH40（付属）	90 100	45 50
NP-FH50	105 115	50 55
NP-FH70	230 245	115 120
NP-FH100	525 565	260 280

DCR-SR300:

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-FH50	70 75	35 35
NP-FH60（付属）	95 100	45 50
NP-FH70	155 165	75 80
NP-FH100	365 385	180 190

* 実撮影時とは、録画スタンバイ、電源スイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

ご注意

- それぞれの時間は、録画モードが［SP］で、次の条件によるものです。
  上段：液晶画面バックライトが「入」のとき
  下段：液晶画面バックライトが「切」のとき

再生可能時間

満充電からのおよその時間（分）。

DCR-SR62:

バッテリー型名	再生可能時間*
NP-FH40（付属）	110
NP-FH50	130
NP-FH70	280
NP-FH100	635

DCR-SR300:

バッテリー型名	再生可能時間*
NP-FH50	120
NP-FH60（付属）	160
NP-FH70	255
NP-FH100	590

* 液晶画面バックライトが「入」のとき

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、電源スイッチを「切(充電)」にして ▇▇(動画)ランプ/ ▇(静止画)ランプ(22ページ)が消えてから行ってください。
- 次のとき、充電中の充電ランプが点滅したり、バッテリーインフォ(14ページ)が正しく表示されないことがあります。
  – バッテリーを正しく取り付けていないとき
  – バッテリーが故障しているとき
  – バッテリーが劣化しているとき(バッテリーインフォ表示のみ)
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機やハンディカムステーションのDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。
- ビデオライト(別売り)を取り付けたときは、バッテリーパックNP-FH70/FH100のご使用をおすすめします。
- NP-FH30は撮影/再生可能な時間が短いため、本機での使用はおすすめできません。

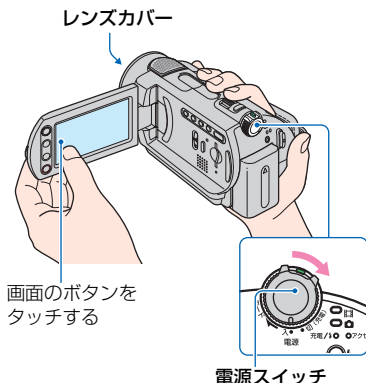
充電/撮影/再生可能時間について

- 25℃(10～30℃が推奨)で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備3：電源を入れて日付時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、電源スイッチを切り換えるたびに[日時あわせ]が表示されます。

1 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、本機の電源を入れる。

▇▇ **(動画)**：動画を撮影するとき

▇ **(静止画)**：静止画を撮影するとき

日時あわせ画面が表示される。

2 ▲/▼でエリアを選び、[次へ]をタッチする。

3 サマータイムを設定し、[次へ]をタッチする。

日本国内で使用するときは[切]を選ぶ。

4 ▲/▼で[年]をあわせる。

5 ◀/▶で[月]に移動し、▲/▼であわせる。

6 同様に[日]、時、分をあわせ、[次へ]をタッチする。

7 設定された日付時刻を確認し、OKをタッチする。

設定した日時から時計が動き始めます。
2037年まで設定できます。
真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

電源を切るには

電源スイッチを「切(充電)」にする。

日付時刻を設定しなおすときは

ホームメニューの(設定)→[時計設定]→[日時あわせ]で設定する。

ご注意

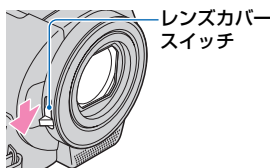
- 3か月近く使わないでおくと、内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。内蔵の充電式電池を充電してから設定し直してください(109ページ)。
- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかります。その間、本機の操作はできません。
- 本機の電源を入れると自動的にレンズカバーが開きます。再生画面に切り換えたり、電源を切ったりすると閉まります(DCR-SR300)。
- お買い上げ時は、電源を入れて何もしない状態が約5分続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます([自動電源オフ]、61ページ)。

ちょっと一言

- 日付時刻は撮影時には表示されません。自動的にハードディスクに記録され、再生時に表示させることができます([日時/データ表示]、57ページ)。
- 世界時刻表は103ページをご覧ください。
- サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機で[サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。
- 反応するボタンがずれていると感じるときは、タッチパネルの調節(キャリブレーション)をしてください(109ページ)。

準備4：撮影前の調節をする

レンズカバーを開ける（DCR-SR62）

レンズカバースイッチを動かして、レンズカバーを開けます。

ちょっと一言

- 撮影が終わったときや画像を再生するときは、レンズカバーを閉めてください。
- DCR-SR300は、自動でレンズカバーが開閉します。

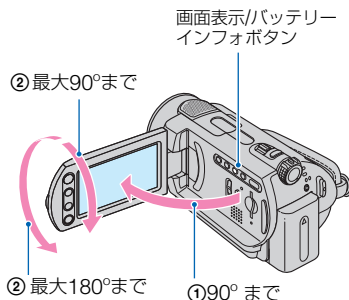
液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を90°まで開き（①）、見やすい角度に調節する（②）。

画面表示/バッテリーインフォボタン

② 最大90°まで

② 最大180°まで

①90° まで

液晶画面バックライトを暗くしてバッテリーを長持ちさせるには

画面表示/バッテリーインフォボタンを が表示されるまで数秒間押したままにする。

明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせるときに効果的です。録画される画像に影響ありません。
解除するには、 が消えるまで画面表示/バッテリーインフォボタンを押したままにします。

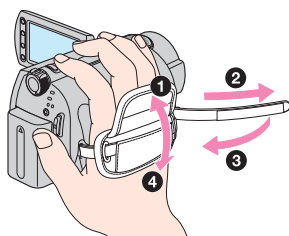
ご注意

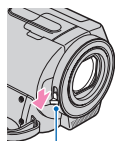
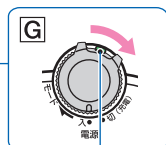
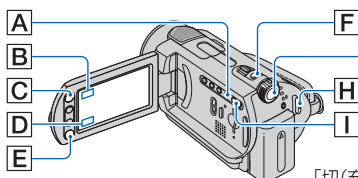
- 液晶画面を開閉するときや、角度を調節するときに、液晶画面横のボタンを誤って押さないようにご注意ください。

ちょっと一言

- 液晶画面を開いた状態でレンズ側に180°回転させると、外側に向けて本体に収められます。再生時に便利です。
- 液晶画面の明るさは、ホームメニューの（設定）→［音/画面設定］→［パネル明るさ］（58ページ）で調節できます。
- 画面表示/バッテリーインフォボタンを押すたびに、バッテリー残量などの情報が表示⟷非表示と切り換わります。

グリップベルトを調整する

グリップベルトを図の順番にしっかりと締め、正しく構えます。

かんたんに撮って見る(シンプル操作)

ほとんどの設定を自動化するので、細かい設定なしに簡単に撮影、再生できます。また、文字も大きく見やすくなります。

レンズカバーを開ける
(DCR-SR62)(18ページ)

「切(充電)」から電源を入れるときのみ、押しながら矢印の方向へずらす。

動画を撮る

1 電源スイッチ G で (動画)ランプを点灯させる。

2 シンプルボタン A を押す。

シンプル が液晶画面に表示される。

3 スタート/ストップボタン H (または E)を押して撮影を開始する。*

[スタンバイ]→[● 録画]

もう1度押すと、録画ストップ。

静止画を撮る

お買い上げ時はハードディスクに記録されるように設定されています。"メモリースティック デュオ"に記録することもできます(26ページ)。

1 電源スイッチ G で (静止画)ランプを点灯させる。

2 シンプルボタン A を押す。

シンプル が液晶画面に表示される。

3 フォトボタン F を押して撮影する。**

軽く押して ピント合わせ　点滅→点灯　深く押して 撮影

* 動画は録画モード[SP](52ページ)で記録されます。
** 静止画は画質[ファイン](55ページ)で記録されます。

撮影した動画/静止画を見る

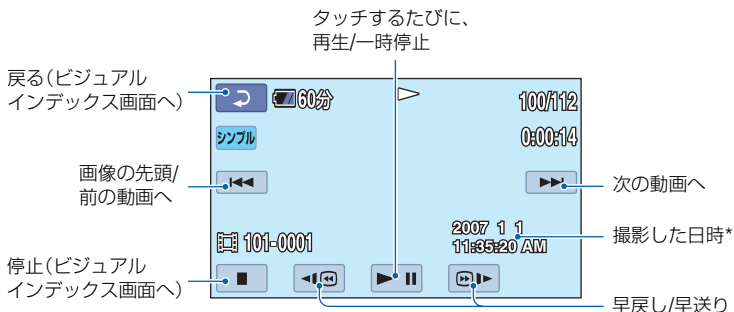
1 電源スイッチ[G]を矢印の方向にずらして、電源を入れる。

2 ▶（画像再生）ボタン[I]（または[D]）を押す。

ビジュアルインデックス画面が表示されます（数秒かかります）。

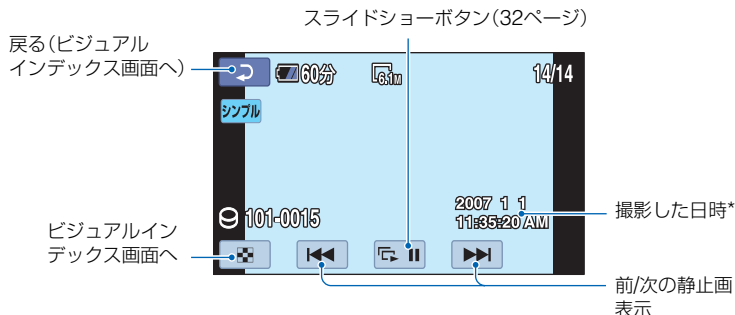
3 再生を始める。

動画のときは：

タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

＊［日時/データ表示］は［日付時刻データ］（57ページ）で記録されます。

ちょっと一言
- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に［◀II⏪］/［⏩II▶］をタッチするとスロー再生が始まります。
- 動画の音量は、ホームメニューの→ (設定)→［音設定］→［音量］をタッチし、［－］/［＋］で調節します。

静止画のときは:

タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

* ［日時/データ表示］は［日付時刻データ］(57ページ)で記録されます。

シンプル操作をやめるには

シンプルボタン[A]をもう一度押す。液晶画面の シンプル 表示が消える。

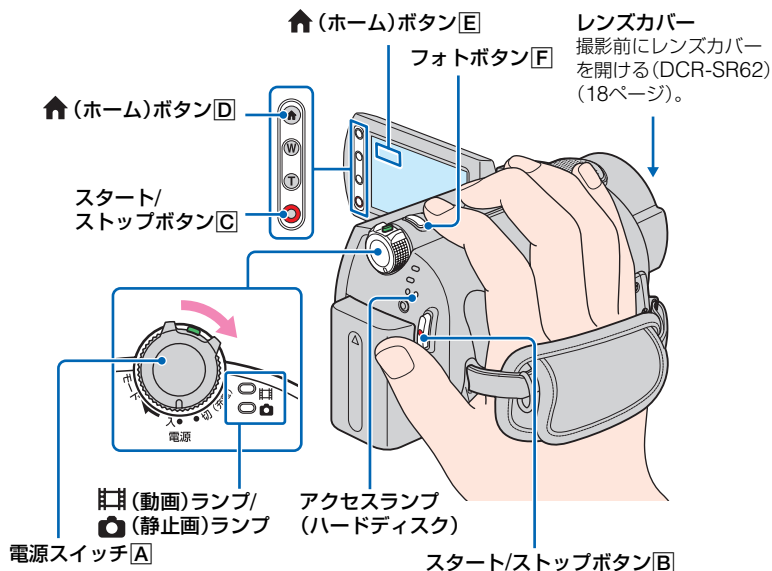
シンプル操作中のメニュー設定

(ホーム)ボタン[C](または[B])をタッチすると設定可能なメニューが表示されます(9、51ページ)。

ご注意
- ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります(91ページ)。
- (オプション)メニューは使えません。
- 画像に効果を加えたり、いろいろな設定をしたいときはシンプル操作を解除してください。

シンプル操作中は使えないボタン

ほとんどの機能は自動設定されるため、使えないボタン/機能があります(91ページ)。使えないボタンを押すと、「シンプル操作中は無効です」とメッセージが出ることもあります。

撮る

ご注意

- 撮影終了後、アクセスランプ点灯中、または点滅中は、撮影したデータを記録メディアに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取り外したりしないでください。
- 動画の連続撮影可能時間は13時間です。
- 動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。

ちょっと一言

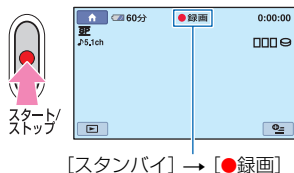
- ハードディスクの残量を確認するには、ホームメニューの (HDD/メモリー管理)→[情報]をタッチする(48ページ)。

動画を撮る

ハードディスクに動画を記録できます。撮影可能時間については52ページをご覧ください。

1 電源スイッチAを矢印の方向にずらして、(動画)ランプを点灯させる。

2 スタート/ストップボタンB(またはC)を押す。

[スタンバイ] → [●録画]

撮影をやめるときは、スタート/ストップボタンをもう一度押す。

静止画を撮る

お買い上げ時はハードディスクに記録されるように設定されています。"メモリースティック デュオ"に記録したいときは、記録先を変更してください。撮影可能枚数については55ページをご覧ください。

1 電源スイッチAを矢印の方向にずらして、(静止画)ランプを点灯させる。

2 フォトボタンFを押す。

軽く押してピント合わせ　点滅 → 点灯　深く押して撮影

▮▮▮▮▮が消えると記録される。

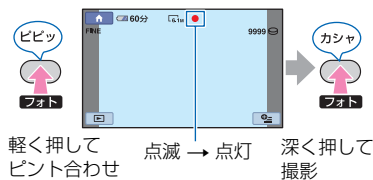
(ホーム)ボタンD(またはE)で撮影モードを切り換えるには

ホームメニューの (撮影)→[動画]または[静止画]をタッチする。

動画撮影中に、高画素の静止画を記録するには(デュアル記録)(DCR-SR300)

→詳しくは25ページをご覧ください。

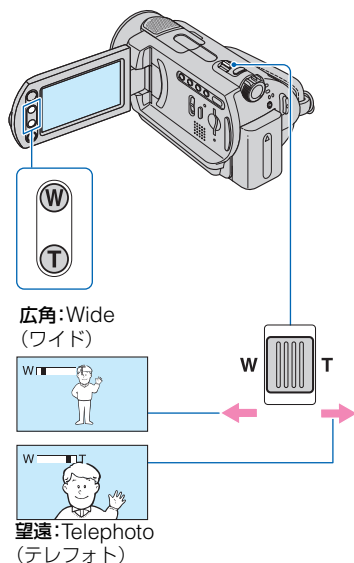
静止画の記録先を変更するときは

→詳しくは26ページをご覧ください。

ズームする

お使いの機種により、以下の倍率までズームできます。

（光学ズーム）

DCR-SR62	25倍
DCR-SR300	10倍

倍率はズームレバーまたは液晶画面横のズームボタンで調整します。

ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

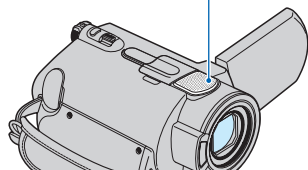
ご注意

- T（望遠）側にズームすると、手ブレ補正が効きにくくなります（DCR-SR62）。
- ズームレバーから急に指を離すと操作音が記録される場合があるのでご注意ください。
- 液晶画面横のズームボタンでは、ズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

ちょっと一言

- ［デジタルズーム］（52ページ）を使うと、さらにズームできます。

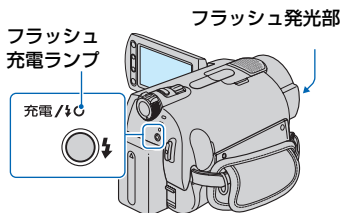
臨場感のある音で記録する（5.1chサラウンド記録）（DCR-SR300）

内蔵マイクで取り込んだ音を5.1chサラウンド音声に変換して記録します。

本機は、ドルビーデジタル5.1クリエーターの搭載により、5.1chサラウンド音声を記録できます。5.1chサラウンドに対応した機器で再生すると、臨場感あふれる音を楽しめます。

ドルビーデジタル5.1クリエーター、5.1chサラウンド音声☞用語集（119ページ）へ

ご注意

- 本機で5.1ch音声を再生すると、2chに変換されて出力されます。
- 5.1ch記録/再生時には、画面に♪5.1chが表示されます。

フラッシュを使う（DCR-SR300）

（フラッシュ）ボタンを繰り返し押して、お好みの設定を選ぶ。

表示なし（自動調節）：撮影状況により光量が足りないと判断した場合、自動的に発光する。

↓

（強制発光）：周囲の明るさに関係なく、常に発光する。

↓

（発光禁止）：常に発光しない。

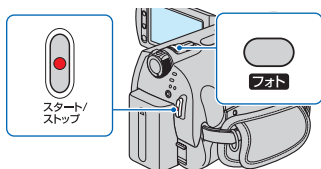
ご注意

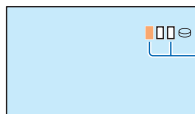
- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は約0.3m～2.5mです。
- フラッシュ表面の汚れは取り除いてください。光による熱で汚れが変色、貼り付くなどしてフラッシュが充分な量を発光できなくなることがあります。
- フラッシュ充電ランプはフラッシュ充電中に点滅し、充電が完了すると点灯に変わります。
- 逆光時など明るい場所では、強制発光を行ってもフラッシュ効果が得られにくいことがあります。
- コンバージョンレンズ（別売り）やフィルター（別売り）取り付け時は、フラッシュは発光しません。

ちょっと一言

- ［フラッシュレベル］で発光量を手動で変えたり（56ページ）、［赤目軽減］で目が赤く写るのを抑制したりできます（56ページ）。

動画撮影中に高画素の静止画を記録する（デュアル記録）（DCR-SR300）

動画撮影中に、高画質の静止画を記録することができます。

① 電源スイッチをずらして（動画）ランプを点灯させたら、スタート/ストップボタンを押し、動画撮影を開始する。

② フォトボタンを深く押す。
動画撮影を開始してから終了するまでに、最大3枚までの静止画を記憶することができる。

静止画記憶枚数
記憶されると、オレンジ色に変わる。

③ スタート/ストップボタンを押して動画撮影を終了する。
記憶していた静止画が1枚ずつ表示され、記録される。が消えると記録が完了する。

ご注意

- "メモリースティック デュオ"を使ってデュアル記録をしたときは、動画撮影を終了して"メモリースティック デュオ"への記録が完了するまで、本機から"メモリースティック デュオ"を抜かないでください。
- フラッシュ撮影はできません。

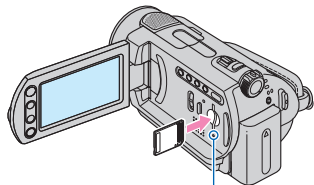
ちょっと一言

- （動画）ランプ点灯時、静止画の画像サイズは 4.6M（16:9）または3.4M（4:3）になります。

- 撮影スタンバイ中は（静止画）ランプ点灯時と同様に静止画を記録できます。フラッシュ撮影も可能です。

静止画を"メモリースティック デュオ"に記録する

静止画の記録先を"メモリースティック デュオ"に変更することができます。お買い上げ時は本機内のハードディスクに記録されるように設定されています。

MEMORY STICK DUO、MEMORY STICK PRO DUO マーク付き"メモリースティック デュオ"のみ使えます（105ページ）。

アクセスランプ
（"メモリースティック デュオ"）

液晶画面を開き、"メモリースティック デュオ"を正しい向きに、「カチッ」というまで押し込む。

静止画の記録先を変更するときは

① （オプション）→ タブ→［静止画記録先］をタッチする。

② 静止画を記録するメディアを選び、OK をタッチする。

撮影画面に戻る。記録先に［メモリースティック］を選んだときは、画面に が表示される。

"メモリースティック デュオ"を取り出すには

液晶画面を開き、"メモリースティック デュオ"を軽く1回押して取り出す。

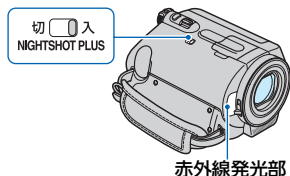
ご注意

- アクセスランプの点灯中や点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、"メモリースティック デュオ"やバッテリーを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 誤った向きで無理に入れると、"メモリースティック デュオ"やメモリースティック デュオ スロット、画像データが破損することがあります。

ちょっと一言

- 画質や画像サイズによって撮影可能枚数は異なります。撮影枚数については55ページをご覧ください。

暗い場所で撮る（NightShot plus/NightShot）

DCR-SR62:

赤外線発光部

NIGHTSHOT PLUSスイッチを「入」にする。（ が表示される。）

ご注意

- NightShot plusとSuper NightShot plusは赤外線を利用するため、赤外線発光部を指などで覆わないでください。コンバージョンレンズ（別売り）は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手動ピント合わせ（［フォーカス］、64ページ）をしてください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

💡 **ちょっと一言**

- さらに高感度で撮影するにはSuper NightShot plus（67ページ）が使えます。
- 薄暗い場所でも明るくカラーで撮影するにはColor Slow Shutter（67ページ）が使えます。

DCR-SR300:

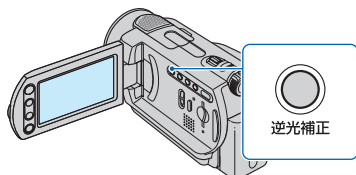
NIGHTSHOTスイッチを「入」にする
（◉）が表示される。

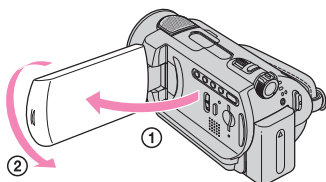
ご注意

- NightShotとSuper NightShotは赤外線を利用するため、赤外線発光部を指などで覆わないでください。コンバージョンレンズ（別売り）は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手動ピント合わせ（[フォーカス]、64ページ）をしてください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

💡 **ちょっと一言**

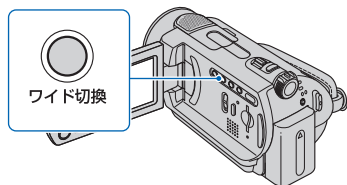
- さらに高感度で撮影するにはSuper NightShot（67ページ）が使えます。
- 薄暗い場所でも明るくカラーで撮影するにはColor Slow Shutter（67ページ）が使えます。

逆光を補正する

逆光補正ボタンを押すと☒が表示されて補正される。解除するにはもう一度押す。

自分撮り（対面撮影）する

液晶画面を90°まで開いてから（①）、レンズ側に180°回す（②）。

💡 **ちょっと一言**

- 液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

撮影する画像の比率（ワイド/4:3）を選ぶ

動画の比率を選ぶには

① 電源スイッチをずらして、🎞（動画）ランプを点灯させる。

② ワイド切換ボタンを繰り返し押して、希望の設定にする。

ご注意

- 4:3とワイド（16:9）での画角の差は、ズームの位置によって異なります。
- テレビで見るときは、メニューの[TVタイプ]で、お使いのテレビに合った画像の比率を設定できます（34ページ）。
- [TVタイプ]を[4:3]に設定して、ワイド（16:9）で撮影した画像を見ると、被写体によっては画像が粗く見えることがあります（34ページ）。

静止画の比率を選ぶには

① 電源スイッチをずらして、（静止画）ランプを点灯させる。画像の比率が4:3に切り換わります。

② ワイド切換ボタンを押して、希望の設定にする。

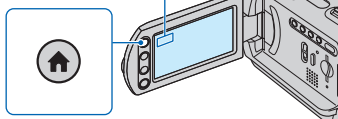
ご注意

- DCR-SR62では、静止画の画像サイズはワイド(16:9)のとき[0.7M](0.7M)、4:3では最大で[1.0M](1.0M)になります。
- DCR-SR300では、静止画の画像サイズはワイド(16:9)のとき[4.6M](4.6M)、4:3では最大で[6.1M](6.1M)になります。

ちょっと一言

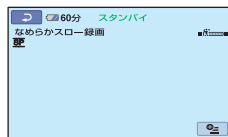
- 撮影可能な枚数については55ページをご覧ください。

速い動作をスローモーションで記録する(なめらかスロー録画)(DCR-SR300)

通常撮影では見ることができない高速な動作、現象を、なめらかなスローモーション映像として撮影します。ゴルフ、テニスのスイングなどの速い動きの撮影時に便利です。

① 電源スイッチをずらして、本機の電源を入れる。

② (ホーム)ボタンA(またはB)を押して、ホームメニューを表示する。

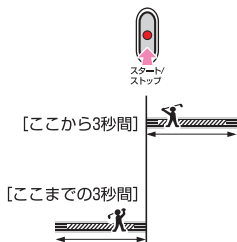
③ (撮影)をタッチする。

④ [なめらかスロー録画]をタッチする。

⑤ スタート/ストップボタンを押す。
約3秒間の動画が、約12秒間のスローモーション映像として記録される。[HDDに録画中]が消えると記録が完了する。

解除するには、をタッチする。

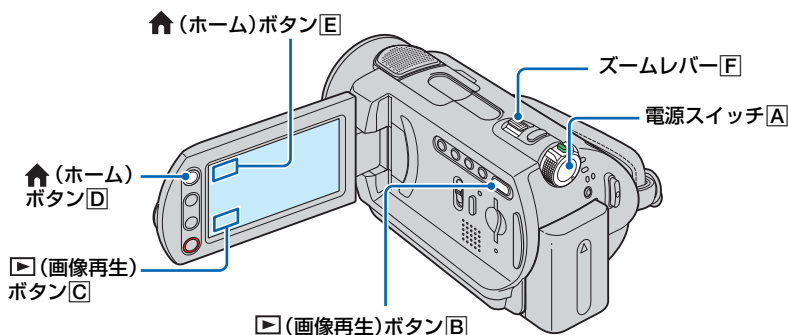
設定を変更するには

(オプション)→タブをタッチして変更したい設定を選ぶ。

- [タイミング]
スタート/ストップボタンを押してから記録を開始するタイミングを選択する(お買い上げ時の設定は[ここから３秒間])。

- [音声記録]
[入]( )にすると、スローモーション映像に会話などを追加記録できる(お買い上げ時の設定は[切])。手順⑤で[HDDに録画中]が表示されている約12秒間に録音する。

ご注意

- 録画中の約3秒間には音声を記録できません。
- なめらかスロー録画の画質は、通常撮影時より劣化します。

見る

1 電源スイッチAをずらして本機の電源を入れる。

2 (画像再生)ボタンB(またはC)を押す。

ビジュアルインデックス画面が表示されます(数秒かかります)。

① :動画を表示する。

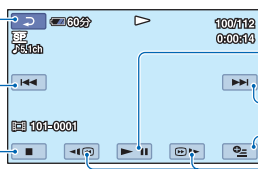
② :ハードディスクに記録した静止画を表示する。

③ :"メモリースティック デュオ"に記録した静止画を表示する。

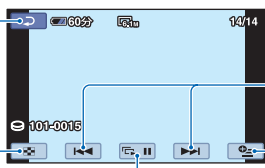
ちょっと一言

- ズームレバーFを動かすと、ビジュアルインデックス画面の表示枚数が6枚↔12枚と切り換わります。ホームメニューの(設定)→[画像再生設定]→[表示枚数]でビジュアルインデックスに表示させる枚数を固定できます(58ページ)。

3 再生を始める。

動画を見る

タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

静止画を見る

、または タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

(ホーム)ボタンD(またはE)で再生モードに切り換えるには

ホームメニューの(画像再生)→[V.インデックス]をタッチする。

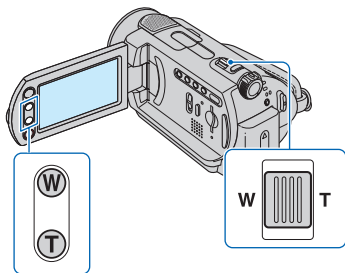
動画の音量を調整するには

(オプション)→タブ→[音量]をタッチし、[−]/[+]をタッチして調節する。

ちょっと一言

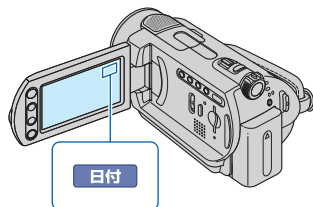
- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に / をタッチすると、スロー再生が始まります。
- / は1度タッチすると約5倍速、2度タッチすると約10倍速、3度タッチすると約30倍速、4度タッチすると約60倍速で動作します。

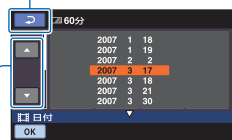
再生ズームする

静止画を1.1～5倍の範囲でズームできます。
倍率はズームレバーまたは液晶画面横のズームボタンで調整します。

① 拡大したい静止画を表示する。
② T（望遠）で画像を拡大する。
　画面に枠が表示される。
③ 画面中央に表示したい部分をタッチする。
　タッチした部分が画面中央に移動する。
④ W（広角）/ T（望遠）で画像の大きさを調節する。

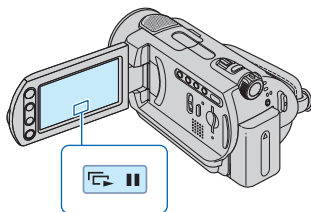
終了するには、[↩]をタッチする。

撮影日から画像を探す（日付インデックス）

撮影日から効率よく画像を探すことができます。

① 本機の電源を入れて、[▶]（画像再生）ボタンを押す。
　ビジュアルインデックス画面が表示される。
② 動画を探しているときは[動画]タブを、静止画のときは[📷]タブをタッチする。
　• 日付インデックス機能は、“メモリースティック デュオ”に保存した静止画には使用できません。
③ ［日付］をタッチする。
　画像の撮影日が表示される。

戻る（ビジュアルインデックス画面へ）

日付送り/戻しボタン

④ 日付送り/戻しボタンをタッチして、見たい画像の撮影日を選ぶ。
⑤ 見たい画像の撮影日が選ばれた状態で、[OK]ボタンをタッチする。
　選んだ日付に撮影した画像が表示される。

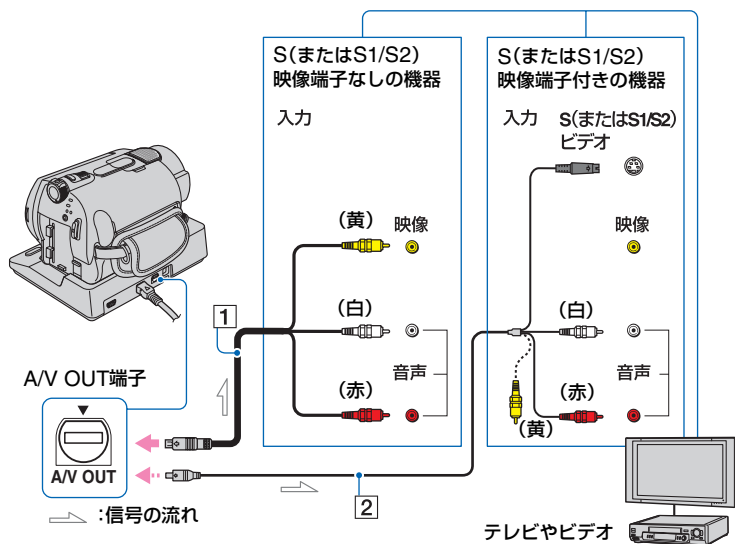
静止画を連続再生する（スライドショー）

静止画再生画面で、[スライドショー]をタッチする。
選んだ画像からスライドショーが始まる。
中止するには、[スライドショー]をタッチする。
再開するときは、もう一度[スライドショー]をタッチする。

ご注意
- スライドショー再生中に再生ズームは使えません。

ちょっと一言
- [オプション]（オプション）→ [再生]タブ → [スライドショー設定]で、スライドショーの繰り返し再生を設定できます（お買い上げ時は[入]）。

テレビにつないで見る

AV接続ケーブル（1）、またはS映像端子付きAV接続ケーブル（2）で本機をテレビやビデオの入力端子につなぎます。本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（13ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 撮影した画像をパソコンで見るときは、69ページをご覧ください。

1 AV接続ケーブル（付属）

A/V OUT端子はハンディカムステーションおよび本機にそれぞれ装備しています（113、114ページ）。AV接続ケーブルは、ハンディカムステーションまたは本機のどちらか一方に接続してください。

2 S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル（別売り）

S（S1、S2）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

ご注意

- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- AV接続ケーブルは、本機とハンディカムステーションに同時につながないでください。画像が乱れることがあります。

ちょっと一言

- ［画面表示出力］を［ビデオ出力/パネル］に設定すると、テレビ画面でカウンターなどの情報を見ることができます（59ページ）。

ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換える。

テレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の比率を変えるには

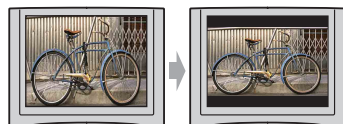
ご覧になるテレビに合わせて再生時の画像の比率を設定する。

① 本機の電源を入れる。

② ホームメニューの (設定) → [出力設定] → [TVタイプ] → [16:9]または[4:3] → OK をタッチ。

ご注意

- ID-1/ID-2対応テレビやテレビのS(S1、S2)映像入力端子につないで再生する場合、[TVタイプ]を[16:9]に設定してください。テレビが自動的に再生画像の比率に切り換わります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- [TVタイプ]を[4:3]に設定したときは、画質が下がることがあります。また、ワイド(16:9)と4:3の映像が切り換わるとき、画面が乱れることがあります。
- 一部の4:3テレビでは、4:3で撮影した静止画がテレビ画面いっぱいに表示されないことがありますが、故障ではありません。

- ワイド(16:9)画像をワイド信号非対応の4:3テレビでご覧になるときは、[TVタイプ]を[4:3]に設定してください。

モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

AV接続ケーブル(付属)の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつなぐ。モノラル音声で聞くときは、市販の接続ケーブルを使ってください。

画像を保存する

本機で撮影した画像は、内蔵ハードディスクに記録されます。内蔵ハードディスクの容量には限りがあるため、DVD-Rなどのディスクやパソコンに撮影した画像データを保存してください。
本機で撮影した画像は、以下の方法で保存（バックアップ）できます。

パソコンを使って、画像を保存する

付属のCD-ROM収録のソフトウェアを使って、本機で撮影した画像を保存できます。

ワンタッチでDVDを作成する
本機で撮影した画像を、簡単操作でそのままDVDに保存できます。

「ワンタッチでDVDを作成する」（73ページ）をご覧ください。

画像をパソコンに保存する
本機で撮影した画像をパソコンのハードディスクに保存します。

「画像をパソコンに取り込む」（78ページ）をご覧ください。

画像を選んでDVDを作成する
パソコンに取り込んだ画像を選んで、DVDに保存できます。また、パソコンで画像の編集もできます。

「DVDを作成する/コピーする」（86ページ）をご覧ください。

本機を他の機器につないで画像を保存する

ビデオ、DVD/HDDレコーダーにダビングする

「ビデオ、DVD/HDDレコーダーにダビングする」（43ページ）をご覧ください。

(その他の機能)カテゴリーでできること

本機で画像編集や、印刷、パソコン接続を可能にします。

(その他の機能)カテゴリー

項目一覧

削除

ハードディスクや"メモリースティック デュオ"の画像を削除します(36ページ)。

編集

ハードディスクや"メモリースティック デュオ"の画像を編集します(38、39ページ)。

プレイリスト編集

プレイリストを作成、編集します(40ページ)。

印刷

PictBridgeプリンターに接続して、静止画をプリントします(44ページ)。

パソコン接続

本機とパソコンを接続します(69ページ)。

画像を削除する

ハードディスクや"メモリースティック デュオ"に記録された画像を本機で削除することができます。

ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。

ちょっと一言

- 1度に100個までの画像を選べます。
- 画像の再生画面から、(オプション)→ タブ → [削除]で削除することもできます。

ハードディスクの画像を削除する

画像データを削除して、本機のハードディスクの空き領域を増やすことができます。本機のハードディスクの空き領域は、[情報](48ページ)で確認できます。

ご注意

- 大切な画像データは、あらかじめ保存してください(35ページ)。
- パソコンから本機のハードディスク内のファイルを削除しないでください。

1 (ホーム)メニューの(その他の機能)→[削除]をタッチする。

2 [削除]をタッチする。

3 削除したい画像が動画の場合は[削除]を、静止画の場合は[削除]をタッチする。

4 削除したい画像をタッチする。

選んだ画像に✔が表示される。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには[↩]をタッチする。

5 [OK]→[はい]→[OK]をタッチする。

すべての動画または静止画を一括して削除するには

手順**3**で[動画全削除]または[静止画全削除]→[はい]→[はい]→[OK]をタッチする。

ハードディスク内の画像を日付ごとに一括して削除するには

① (ホーム)メニューの(その他の機能)→[削除]→[HDD削除]をタッチする。

② 削除したい画像が動画の場合は[動画日付指定削除]を、静止画の場合は[静止画日付指定削除]をタッチする。

日付送り/戻しボタン

③ 日付送り/戻しボタンをタッチして、削除したい画像の撮影日を選ぶ。

④ 削除したい画像の撮影日が選択された状態で[OK]をタッチする。
選択された日付の画像が表示される。
画像を確認するには、その画像をタッチする。選択画面に戻るには[↩]をタッチする。

⑤ [OK]→[はい]→[OK]をタッチする。

ご注意

- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。ハードディスクが壊れる恐れがあります。
- 削除した動画がプレイリスト(40ページ)に追加されている場合は、プレイリスト上の動画も削除されます。

ちょっと一言

- ハードディスクに記録されているすべての画像を削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します(47ページ)。
- 本機で撮影してハードディスクに記録された画像を「オリジナル」といいます。

“メモリースティック デュオ”の静止画を削除する

“メモリースティック デュオ”に記録された画像を削除するときは、あらかじめ本機に“メモリースティック デュオ”を入れておいてください。

1 (ホーム)メニューの(その他の機能)→[削除]をタッチする。

2 [メモリースティック削除]をタッチする。

3 [静止画削除]をタッチする。

4 **削除したい画像をタッチする。**

選んだ画像に✔が表示される。
選んだ画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには［↩］をタッチする。

5 **［OK］→［はい］→［OK］をタッチする。**

"メモリースティック デュオ"内のすべての静止画を削除するには

手順**3**で［■全削除］→［はい］→［はい］→［OK］をタッチする。

ご注意

- 次の場合は削除できません。
  - "メモリースティック デュオ"が誤消去防止状態になっているとき（105ページ）
  - 他機で画像にプロテクト（誤消去防止）をかけているとき

ちょっと一言

- "メモリースティック デュオ"内のすべてのデータを削除するには、初期化します（48ページ）。

画像を分割する

撮影した動画を分割することができます。

ご注意

- シンプル操作中は動画の分割はできません。シンプル操作を解除してください。

1 **（ホーム）メニューの（その他の機能）→［編集］をタッチする。**

2 **［分割］をタッチする。**

3 **分割したい動画をタッチする。**

選んだ動画が再生される。

4 **分割したいところで［▶II］をタッチする。**

再生が一時停止する。

［▶II］で分割位置を決定してから微調整をする

選んだ動画の先頭に戻る

［▶II］を押すたびに、再生と一時停止が切り換わる。

5 **［OK］→［はい］→［OK］をタッチする。**

ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。

- 編集中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。ハードディスクが壊れる恐れがあります。
- プレイリストに追加されていた動画を分割すると、プレイリスト上の動画も分割されます。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、▶ II で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。

静止画をコピーする

ハードディスクの静止画を"メモリースティック デュオ"にコピーできます。
あらかじめ、"メモリースティック デュオ"を本機に入れておいてください。

ちょっと一言

- 1度に100枚までの静止画を選べます。
- 静止画の再生画面から、(オプション) → ▶ タブ → [へコピー]でコピーすることもできます。

1 (ホーム)メニューの (その他の機能)→[編集]→[コピー]をタッチする。

2 [→ コピー]をタッチする。

3 コピーしたい画像をタッチする。

選んだ画像に✔が表示される。
選んだ画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには をタッチする。

4 OK →[はい]をタッチする。

静止画のコピーが始まる。

5 [完了しました]と表示されたら、OK をタッチする。

編集する

静止画を日付ごとに一括してコピーするには

① (ホーム)メニューの(その他の機能)→[編集]→[コピー]をタッチする。

② [→ 日付でコピー]をタッチする。
日付選択画面が表示される。

日付送り/戻しボタン

③ 日付送り/戻しボタンをタッチして、コピーしたい画像の撮影日を選ぶ。

④ コピーしたい画像の撮影日が選択された状態で OK をタッチする。
選択された日付の画像が表示される。
画像を確認するには、その画像をタッチする。選択画面に戻るには をタッチする。

⑤ OK →[はい]→ OK をタッチする。

ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使うことをおすすめします。
- 静止画のコピー中は、本機に振動を与えたり、電源を抜いたりしないでください。
- コピーする静止画の枚数が多いと時間がかかる場合があります。
- "メモリースティック デュオ"の静止画をハードディスクにコピーすることはできません。

プレイリストを作る

「プレイリスト」とは、オリジナルの動画の中から、好みのものを選んで作成したリストのことです。
プレイリスト上で画像を編集しても、オリジナルの画像には影響ありません。

ご注意

- シンプル操作中は、プレイリストへの登録、編集はできません。シンプル操作を解除してください。

1 (ホーム)メニューの(その他の機能)→[プレイリスト編集]をタッチする。

2 [追加]をタッチする。

3 追加したい画像をタッチする。

選んだ画像に✓が表示される。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには を タッチする。

4 OK →[はい]→ OK をタッチする。

動画を日付ごとに一括してプレイリストに追加するには

① 🏠(ホーム)メニューの▤(その他の機能)→[プレイリスト編集]をタッチする。

② [日付指定追加]をタッチする。

日付選択画面が表示される。

日付送り/戻しボタン

③ 日付送り/戻しボタンをタッチして、追加したい画像の撮影日を選ぶ。

④ 追加したい画像の撮影日が選択された状態で OK をタッチする。

選択された日付の画像が表示される。

画像を確認するには、その画像をタッチする。選択画面に戻るには ⮐ をタッチする。

⑤ OK →[はい]→ OK をタッチする。

ご注意

- 編集中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。ハードディスクが壊れる恐れがあります。
- 静止画はプレイリストに追加できません。

ちょっと一言

- プレイリストには最大99個の動画を追加できます。
- 動画の再生画面から、(オプション) → ▶タブ → [へ追加]で追加することもできます。
- 付属のソフトウェアを使って、プレイリストをそのままDVDにコピーすることができます（87ページ）。

プレイリストを再生する

1 🏠(ホーム)メニューの▶(画像再生)→[プレイリスト]をタッチする。

プレイリストに追加された画像が表示される。

2 再生を始めたい画像をタッチする。

選んだ画像からプレイリストの最後まで再生され、プレイリスト画面に戻る。

追加した画像をプレイリストから外すには

① 🏠(ホーム)メニューの▤(その他の機能)→[プレイリスト編集]をタッチする。

② [消去]をタッチする。

すべての画像を一括して外すには、[全消去]→[はい]→[はい]→ OK をタッチする。

③ プレイリストから外したい画像をタッチする。

選んだ画像に✔が表示される。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには ⮐ をタッチする。

④ OK→[はい]→OK をタッチする。

ちょっと一言
- プレイリストに追加した画像を外しても、オリジナルの画像には影響ありません。

追加した画像を並べ換えるには

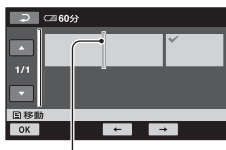
① (ホーム)メニューの (その他の機能)→[プレイリスト編集]をタッチする。

② [移動]をタッチする。

③ 移動させたい画像をタッチする。

選んだ画像に✔が表示される。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには をタッチする。

④ OK をタッチする。

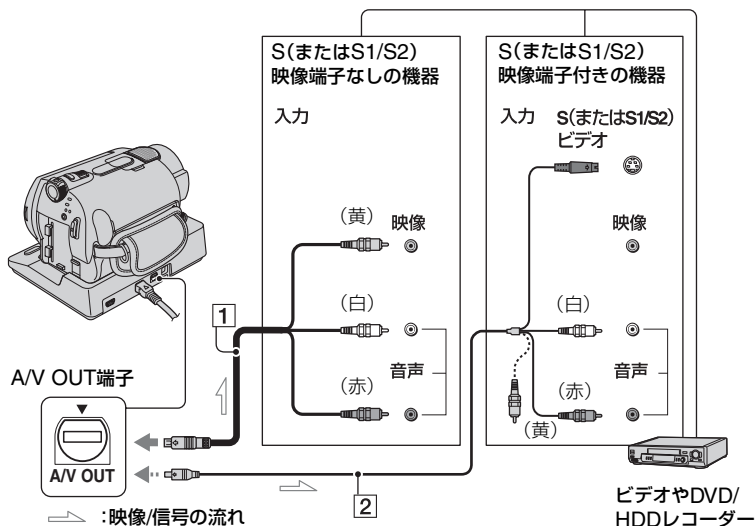
⑤ [←]/[→]で移動先を選ぶ。

移動先表示

⑥ OK→[はい]→OK をタッチする。

ちょっと一言
- 複数の画像を選んだ場合は、プレイリスト上で並んでいた順番で移動します。

ビデオ、DVD/HDDレコーダーにダビングする

本機と他のビデオ、DVD/HDDレコーダーを接続すると、本機の画像を他のDVDやビデオテープへダビングできます。下図のどちらかの方法で接続してください。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(13ページ)。
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意
- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化することがあります。

1 **AV接続ケーブル(付属)**
A/V OUT端子はハンディカムステーションおよび本機にそれぞれ装備しています(113、114ページ)。AV接続ケーブルは、ハンディカムステーション、または本機のどちらか一方に接続してください。

2 **S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル(別売り)**
S(S1、S2)映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

ご注意
- 接続した機器の画面にカウンターなどの表示を出さない場合は、ホームメニューの(設定)→[出力設定]→[画面表示出力]→[パネル](お買い上げ時の設定)にしてください(59ページ)。
- 日時やカメラデータをダビングしたいときは、それらを表示させてください(57ページ)。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力/出力)の場合は、AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつなぎます。

1 **本機の電源を入れ、▶(画像再生)ボタンを押す。**

再生機器(テレビなど)に合わせて、[TVタイプ]を設定する(34ページ)。

2 **録画側のビデオは録画用カセットテープ、DVDレコーダーは録画用DVDをセットする。**

入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にする。

3 **本機と録画側の機器(ビデオ、DVD/HDDレコーダー)を、AV接続ケーブル(1、付属)またはS映像端子付きAV接続ケーブル(2、別売り)でつなぐ。**

録画側の機器の入力端子につなぐ。

4 **本機で再生を始め、録画側の機器で録画を始める。**

詳しくは、録画側の機器の取扱説明書をご覧ください。

5 **ダビングが終わったら、録画側の機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。**

記録した静止画を印刷する(PictBridge対応プリンター)

PictBridge対応のプリンターを使えば、本機で撮影した静止画をパソコンを使わずに印刷できます。

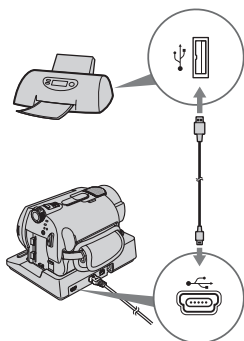
PictBridge

本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(13ページ)。あらかじめ、プリンターの電源を入れておいてください。
"メモリースティック デュオ"の静止画を印刷する場合は、あらかじめ本機に静止画を記録した"メモリースティック デュオ"を入れておいてください。

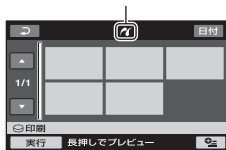
本機とプリンターを接続する

1 **ACアダプターをハンディカムステーションと壁のコンセントにつなぐ。**

2 **本機をハンディカムステーションに取り付けて、電源を入れる。**

3 **USBケーブル(付属)でハンディカムステーションの(USB)端子とプリンターをつなぐ。**

本機の画面に[USB機能選択]画面が表示される。

4 **印刷したい画像に合わせて、[⊖印刷](ハードディスク)、または[▭ 印刷](“メモリースティック デュオ”)をタッチする。**

本機とプリンターの接続が完了すると画面に 〄 (PictBridge接続中)が表示される

静止画選択画面が表示される。

ご注意

- PictBridge規格未対応機器との接続は、動作保証いたしません。

印刷する

1 **印刷したい画像をタッチする。**

選んだ画像に✔が表示される。画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには、[⮐]をタッチする。

2 **(オプション)ボタンをタッチして次の設定をしたら、[OK]をタッチする。**

[印刷部数]:1枚の静止画を印刷する部数。最大20部まで印刷部数を設定できる。

[日付/時刻]:[年月日]、[日時分]または[切](日付/時刻印刷なし)から選ぶ。

[用紙サイズ]:印刷用紙のサイズを選ぶ。

変更しないときは、手順**3**に進む。

3 **[実行]→[はい]→[OK]をタッチする。**

画像選択画面に戻る。

印刷を終了するには

画像選択画面で[⮐]をタッチする。

ご注意

- プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 画面に が表示中に次の操作をすると、正常な処理が行われません。
  – 電源スイッチを切り換える
  – （画像再生）ボタンを押す
  – 本機をハンディカムステーションから取り外す
  – ハンディカムステーションやプリンターからUSBケーブルを抜く
  – [印刷]のとき、本機から"メモリースティック デュオ"を取り出す
- プリンターが動作しなくなった場合は、USBケーブルを抜いてプリンターの電源を入れ直してから、操作をやり直してください。
- プリンターが対応していない用紙サイズは選択できません。
- プリンターによっては、画像の上下左右が切れる場合があります。特に画像がワイド（16:9）のときは、左右が大きく切れる場合があります。
- プリンターによっては、日時印刷に対応していないものがあります。プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- 次の画像は印刷できないことがあります。
  – パソコンで編集した画像
  – 他機で撮影した画像
  – ファイルサイズが3MBより大きい画像
  – 画素数が2848×2136より大きい画像

ちょっと一言

- PictBridge（ピクトブリッジ）とは、カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格のことです。メーカーや機種に関係なく、ビデオカメラやデジタルスチルカメラを直接プリンターに接続し、パソコンを使わずに画像を印刷できます。
- 静止画の再生画面から、（オプション）→ タブ →［印刷］で印刷することもできます。

(HDD/メモリー管理)カテゴリーでできること

ハードディスクや"メモリースティック デュオ"に関するさまざまな操作ができます。

(HDD/メモリー管理)カテゴリー

項目一覧

初期化

ハードディスクをフォーマットして初期状態に戻します(47ページ)。

初期化

"メモリースティック デュオ"をフォーマットして初期状態に戻します(48ページ)。

情報

ハードディスクの容量の情報を確認します(48ページ)。

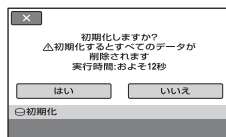
ハードディスク/"メモリースティック デュオ"を初期化する

ハードディスクを初期化する

記録した画像をすべて削除して、本機のハードディスクの記録容量を元に戻し、再び書き込み可能にします。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(13ページ)。

ご注意

- 大切な画像データは保存(35ページ)してから、[初期化]を行ってください。

1 (ホーム)メニューの(HDD/メモリー管理)→[初期化]をタッチする。

2 [はい]→[はい]をタッチする。

3 [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

ご注意

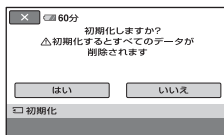
- [初期化]中は、ACアダプターやバッテリーを取り外さないでください。

“メモリースティック デュオ”を初期化する

記録されているデータはすべて削除されます。

1 本機の電源を入れる。

2 初期化したい“メモリースティック デュオ”を入れる。

3 (ホーム)メニューの(HDD/メモリー管理)→[初期化]をタッチする。

4 [はい]→[はい]をタッチする。

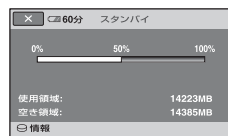
5 [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

ご注意

- 他機でプロテクト(誤消去防止)をかけた静止画も削除されます。
- [実行中]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
  - 電源スイッチまたはボタン操作
  - “メモリースティック デュオ”の取り出し

ハードディスク情報を確認する

ハードディスクの情報を表示し、使用領域と空き領域の目安を確認することができます。

(ホーム)メニューの(HDD/メモリー管理)→[情報]をタッチする。

終了するには

×をタッチする。

ご注意

- ハードディスク容量は、1MBが1,048,576バイトで計算され、MBに満たない端数は切り捨てられて表示されます。そのため、使用領域と空き領域を足しても、下記より若干小さい数値が表示されます。
  - DCR-SR62:
30,000 MB
  - DCR-SR300:
40,000MB
- 管理用ファイル領域があるため、[初期化](47ページ)を行っても、使用領域の表示は0MBになりません。

ハードディスク上のデータを復元しにくくする

本機のハードディスクに無意味なデータを書き込んで、データの復元を困難にします。本機を廃棄したり譲渡する前に、情報の漏洩を防ぐために[データ消去]を行うことをおすすめします。
本機の電源は付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（13ページ）。

ご注意

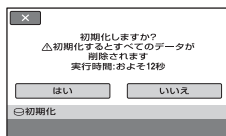
- [データ消去]を行うと、画像はすべて消去されます。大切な画像データは保存（35ページ）してから、[データ消去]を行ってください。
- ACアダプターを使って電源をコンセントからとっていないと、[データ消去]を行うことはできません。
- ACアダプター以外のケーブル類は外してください。実行中はACアダプターを外さないでください。
- [データ消去]中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。

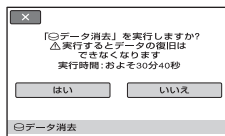
1 ACアダプターがつながれていることを確認したら、本機の電源を入れる。

ちょっと一言

- 電源ランプの点灯位置は、（動画）/（静止画）のどちらでも操作できます。

2 （ホーム）メニューの（HDD/メモリー管理）→[初期化]をタッチする。

[初期化]の画面が表示される。

3 逆光補正ボタンを数秒間長押しする。

[データ消去]の画面が表示される。

4 [はい]→[はい]をタッチする。

5 [完了しました]と表示されたら OK をタッチする。

ご注意

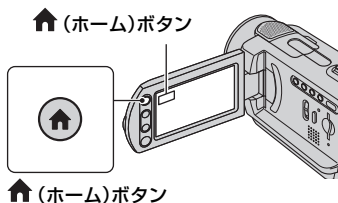
- [データ消去]の実行時間は下記のとおりです。
  - DCR-SR62:
    約30分
  - DCR-SR300:
    約40分
- [実行中]と表示されている間に中止した場合は、次に本機を使う前に、[初期化]または[データ消去]を実行して完了させてください。

記録メディアを使いこなす

ホームメニューの（設定）カテゴリーでできること

お買い上げ時に設定されている撮影機能や本機の動作を、お好みに合わせて変更できます。

設定のしかた

1 本機の電源を入れ、(ホーム)ボタンを押す。

2 (設定)をタッチする。

3 希望する設定項目をタッチする。

画面にないときは、▲/▼をタッチして、表示させる。

4 希望の項目をタッチする。

画面にないときは、▲/▼をタッチして、表示させる。

5 希望の設定にして、OK をタッチする。

(設定)カテゴリーの項目一覧

動画撮影設定(52ページ)

項目	ページ
録画モード	52
NIGHTSHOT ライト	52
デジタルズーム	52
手ブレ補正	53
オートスロシャッタ	53
ガイドフレーム*1	53
ゼブラ*1	53
残量表示	53
フラッシュレベル*1	56
赤目軽減*1	56

静止画撮影設定(54ページ)

項目	ページ
画像サイズ*2	54
画質	55
ファイルナンバー	56
NIGHTSHOT ライト	52
手ブレ補正*1	53
ガイドフレーム*1	53
ゼブラ*1	53
フラッシュレベル	56
赤目軽減	56
静止画記録先*2	26

画像再生設定(57ページ)

項目	ページ
日時/データ表示	57
表示枚数	58

音/画面設定*3(58ページ)

項目	ページ
音量*2	58
操作音*2	58
パネル明るさ	58
パネルBLレベル	59
パネル色の濃さ	59

出力設定(59ページ)

項目	ページ
TVタイプ	34
画面表示出力	59

時計設定(60ページ)

項目	ページ
日時あわせ*2	16
エリア設定	60
サマータイム	60

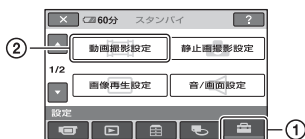
一般設定(61ページ)

項目	ページ
デモモード	61
キャリブレーション	109
自動電源オフ	61
リモコン	61
落下検出	61

*1 DCR-SR300のみ

*2 シンプル操作(19ページ)中に設定できる項目です。

*3 シンプル操作中は[音設定]になります。

動画撮影設定
（動画を撮影するときの設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

▶ 設定方法は
（ホームメニュー）→50ページ
（オプションメニュー）→62ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

録画モード

動画を撮影するときの画質を3段階から選べます。

HQ
高画質で録画する。
（9M（HQ））

▶SP
標準画質で録画する。
（6M（SP））

LP
長時間録画する。
（3M（LP））

撮影可能時間
DCR-SR62:

録画モード	撮影可能時間
HQ	約7時間20分
SP	約10時間50分
LP	約20時間50分

DCR-SR300:

録画モード	撮影可能時間
HQ	約9時間30分
SP	約14時間30分
LP	約28時間

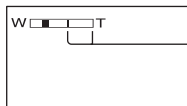
ご注意
- LPモードで録画した画像を再生すると、多少画質が荒くなり、動きの速い映像ではブロックノイズが出ることがあります。

NIGHTSHOT ライト

NightShot plus/NightShot（26ページ）や[S. NIGHTSHOT PLS]（67ページ）/[SUPER NIGHTSHOT]（67ページ）撮影時に、赤外線を発光するライトで、よりはっきりとした画像を記録できます。
お買い上げ時は[入]に設定されています。

ご注意
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください。
- コンバージョンレンズ（別売り）は外してください。
- ライトが届く範囲は約3メートルです。

デジタルズーム

撮影時に、光学ズーム（24ページ）を超えてデジタルズームになったときの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。

DCR-SR62:

▶切
25倍光学ズームのみ

50×
25倍光学ズーム＋最大50倍までのデジタルズーム

2000×
25倍光学ズーム＋最大2,000倍までのデジタルズーム

DCR-SR300:

▶切
10倍光学ズームのみ

20×
10倍光学ズーム＋最大20倍までのデジタルズーム

手ブレ補正

お買い上げ時の設定は[入]のため、手ブレ補正を使って撮影できます。コンバージョンレンズ（別売り）や三脚を利用するときは、[切]（ ）にすると自然な画像になります。

オートスロシャッタ（オートスローシャッター）

暗い場所で撮影するときに自動的に1/30までシャッタースピードが遅くなります。お買い上げ時は[入]に設定されています。

ガイドフレーム（DCR-SR300）

[入]にすると、フレームを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。
フレームは記録されません。画面表示/バッテリーインフォボタンを押すと、フレームを消せます。

ちょっと一言
- ガイドフレームの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

ゼブラ（DCR-SR300）

画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分にしま模様が表示されます。明るさを調節するときの目安にすると便利です。お買い上げ時の設定以外にすると、 が表示されます。ゼブラは記録されません。

▶切
表示しない。

70
輝度レベルが約70IREの部分に表示

100
輝度レベルが約100IRE以上の部分に表示

ご注意
- 100IRE以上の部分は白とびすることがあります。

ちょっと一言
- IREとは輝度の単位です。

残量表示

▶オート
次のときに動画の撮影可能時間を約8秒間表示する。
– （動画）ランプ点灯時にハードディスク残量を認識したとき
– （動画）ランプ点灯時に画面表示/バッテリーインフォボタンを押して、画面表示を非表示→表示に切り換えたとき
– ホームメニューで動画撮影画面に切り換えたとき

入
ハードディスク残量を常に表示する。

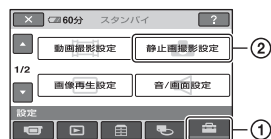
ご注意

- 動画の撮影可能時間が5分以下になったときは、常に表示されます。

フラッシュレベル（DCR-SR300）

56ページをご覧ください。

赤目軽減（DCR-SR300）

56ページをご覧ください。

静止画撮影設定（静止画を撮影するときの設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

設定方法は

（ホームメニュー）→50ページ
（オプションメニュー）→62ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

画像サイズ

DCR-SR62:

▶1.0M（1.0M）
比較的きれいな画像をたくさん撮影する。

VGA（0.3M）（VGA）
たくさんの画像を撮影する。

ちょっと一言

- 画像比率をワイド（16:9）にすると、画像サイズは自動的に［ 0.7M］に設定されます。

DCR-SR300:

▶6.1M（6.1M）
鮮明な画像を撮影する。

3.1M（3.1M）
比較的きれいな画像をたくさん撮影する。

VGA（0.3M）（VGA）
たくさんの画像を撮影する。

ちょっと一言

- デュアル記録時の画像サイズは、画像比率がワイド（16:9）のときは[4.6M]、4:3のときは[3.4M]に自動的に設定されます。
- 画像比率をワイド（16:9）にすると、画像サイズは自動的に[4.6M]に設定されます。

ご注意

- 静止画撮影画面のときのみ設定できます。
- ワイド（16:9）で撮影した静止画をお店でプリントするときは、注文時に「ハイビジョンサイズ」とご指定ください。ご指定がない場合、画像の左右が切れてプリントされることがあります。

“メモリースティック デュオ”の容量（MB）と撮影可能枚数（枚）

	1.0M 1152× 864 1.0M	0.7M 1152× 648 0.7M	VGA 640× 480 VGA
64MB	120	160	390
	325	390	980
128MB	245	325	780
	650	780	1970
256MB	445	590	1400
	1150	1400	3550
512MB	900	1200	2850
	2400	2850	7200
1GB	1800	2450	5900
	4900	5900	14500
2GB	3750	5000	12000
	10000	12000	30000
4GB	7400	9500	23500
	19500	23500	59000

	6.1M 2848× 2136 6.1M	4.6M 2848× 1602 4.6M	3.4M 2136× 1602 3.4M	3.1M 2048× 1536 3.1M
64MB	21	28	37	40
	53	70	93	100
128MB	42	56	74	80
	105	135	185	205
256MB	76	100	130	140
	190	250	335	370
512MB	155	205	270	295
	390	510	690	760
1GB	315	420	550	600
	800	1050	1400	1550
2GB	650	860	1100	1200
	1600	2150	2850	3150
4GB	1250	1700	2250	2400
	3200	4250	5700	6300

ご注意

- それぞれの数値は次の設定によるものです。
  上段は画質が[ファイン]のとき
  下段は画質が[スタンダード]のとき
- ソニー製”メモリースティック デュオ”使用時。枚数は、撮影環境によって変わります。
- ハードディスクには静止画を最大で9,999枚撮影できます。
- ソニー独自のクリアビットCMOSセンサーの画素配列と画像処理システム新エンハンスドイメージングプロセッサーにより、静止画は表記の記載サイズを実現しています（DCR-SR300）。

画質

▶**ファイン（FINE）**
高画質で記録する。

スタンダード（STD）
標準の画質で記録する。

ファイルナンバー

▶ **連番**
静止画の記録先を変更したり、"メモリースティック デュオ"を交換してもファイル番号を連続してつける。

リセット
現在の記録メディアに存在している最大ファイル番号の次の番号を付ける。

NIGHTSHOT ライト

52ページをご覧ください。

手ブレ補正（DCR-SR300）

53ページをご覧ください。

ガイドフレーム（DCR-SR300）

53ページをご覧ください。

ゼブラ（DCR-SR300）

53ページをご覧ください。

フラッシュレベル

本機の内蔵フラッシュ（DCR-SR300）、または本機に対応している外付けフラッシュ（別売り）をお使いのときに設定できます。

明るい（ϟ+）
発光量が増える。

▶ **ノーマル（ϟ）**

暗い（ϟ−）
発光量が減る。

赤目軽減

本機の内蔵フラッシュ（DCR-SR300）、または本機に対応している外付けフラッシュ（別売り）をお使いのときに設定できます。
撮影前に予備発光して、目が赤く光るのを抑制します。

DCR-SR62:
使用するときは、[入]に設定する。

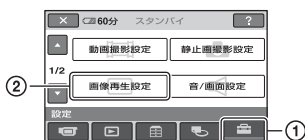
DCR-SR300:
[入]に設定して ϟ（フラッシュ）ボタン（25ページ）を繰り返し押し、お好みの設定を選ぶ。

（自動赤目軽減）：自動でフラッシュ撮影するときのみ撮影前に予備発光し、撮影時に発光する。
↓
ϟ **（強制赤目軽減）**：常に予備発光し、撮影時に発光する。
↓
（発光禁止）：常に発光しない。

- 赤目軽減で撮影しても、効果が現れにくいことがあります。

静止画記録先

26ページをご覧ください。

画像再生設定(表示内容の設定)

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

■ 設定方法は
(ホームメニュー)→50ページ
(オプションメニュー)→62ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

日時/データ表示

撮影時に自動的に記録された情報(日付時刻データやカメラデータ)を再生時に確認できます。

▶切
日付時刻データやカメラデータを表示しない。

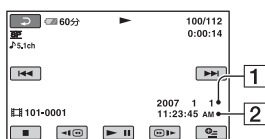
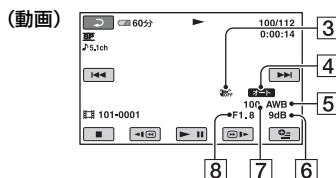
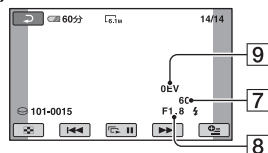
日付時刻データ
記録した画像の日付・時刻データを表示する。

カメラデータ
記録した画像のカメラデータを表示する。

日付時刻データ

1 日付
2 時刻

カメラデータ

(動画)

(静止画)

3 手ブレ補正
4 明るさ調節
5 ホワイトバランス
6 ゲイン
7 シャッタースピード
8 絞り値
9 露出

ちょっと一言

- フラッシュを使って撮影した画像では、⚡が表示されます。
- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも表示されます。
- リモコンのデータコードボタンを押すと、[日付時刻データ]→[カメラデータ]→切(表示なし)と切り換わります。
- ハードディスクの状態によっては、[-- -- --]と表示されます。

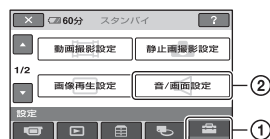
表示枚数

ビジュアルインデックス画面に表示するサムネイルの枚数を設定します。

▶**ズーム連動**
本機のズームレバーを動かすと6枚表示と12枚表示が切り換わる。*

6枚
常に6枚のサムネイルを表示する。

12枚
常に12枚のサムネイルを表示する。

* 液晶画面横のズームボタン、リモコンのズームボタンでも操作できます。

音/画面設定（操作音やパネルの設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

設定方法は
（ホームメニュー）→50ページ
（オプションメニュー）→62ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

音量

[－]/[＋]をタッチして調節します。30ページをご覧ください。

操作音

▶**入**
撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

切
操作音とシャッター音を出さない。

パネル明るさ

液晶画面の明るさを調節できます。

① [－]/[＋]で調節する。
② [OK]をタッチする。

ちょっと一言
- 録画される画像に影響ありません。

パネルBLレベル

液晶画面のバックライトの明るさを調節できます。

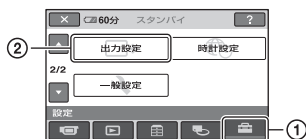
▶ノーマル
通常の設定（標準の明るさ）。

明るい
画面が暗いと感じたときに選ぶ。

ご注意
- ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に［明るい］になります。
- ［明るい］を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。
- 液晶画面を180度回転させ、外側に向けて閉じた状態で使うと、設定は自動的に［ノーマル］になります。

ちょっと一言
- 録画される画像に影響ありません。

パネル色の濃さ

［－］/［＋］で液晶画面の濃さを調節できます。

ちょっと一言
- 録画される画像に影響ありません。

出力設定（他の機器とつないだときの設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

■ 設定方法は
（ホームメニュー）→50ページ
（オプションメニュー）→62ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

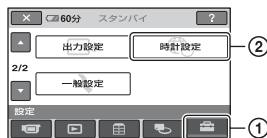
TVタイプ

34ページをご覧ください。

画面表示出力

▶パネル
カウンターなどの画面表示を液晶画面に出す。

ビデオ出力/パネル
画面表示をテレビ画面、液晶画面に出す。

時計設定(時刻などの設定)

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

▶ 設定方法は
(ホームメニュー)→50ページ
(オプションメニュー)→62ページ

日時あわせ

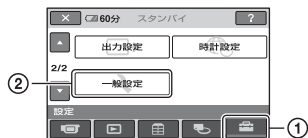
16ページをご覧ください。

エリア設定

時計を止めることなく時差補正ができます。
海外で使用するときは、▲/▼で使用する地域を選び、現地時刻に合わせます。「世界時刻表」(103ページ)をご覧ください。

サマータイム

時計を止めることなく設定を変更できます。
[入]に設定すると、時計が1時間進みます。

一般設定（その他の設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

設定方法は
（ホームメニュー）→50ページ
（オプションメニュー）→62ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

デモモード

お買い上げ時の設定は［入］のため、電源スイッチをずらして（動画）ランプを点灯させた約10分後に本機の機能のデモンストレーションを見ることができます。

ちょっと一言
- 次のいずれかを行うと、デモンストレーションを中断できます。
  – スタート/ストップボタン、フォトボタンを押す
  – デモンストレーション中に画面をタッチする（約10分後に再開します）
  – "メモリースティック デュオ"を取り出す/入れる
  – （静止画）ランプを点灯させる
  – （ホーム）ボタン/（画像再生）ボタンを押す

キャリブレーション

109ページをご覧ください。

自動電源オフ

▶5分後
何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる。

なし
自動的に電源は切れない。

ご注意
- コンセントにつないで使うと自動的に［なし］になります。

リモコン

お買い上げ時の設定は［入］のため、付属のワイヤレスリモコン（115ページ）が使えます。

ちょっと一言
- ［切］に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

落下検出

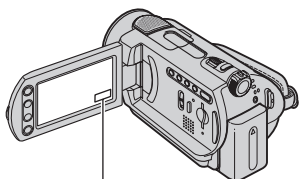
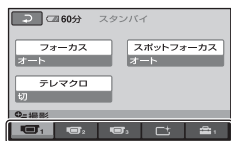
お買い上げ時の設定は［入］のため、本機が落下状態を検出すると、内蔵ハードディスクの保護のために、正常な記録/再生ができなくなることがあります。落下検出時は、が表示されます。

ご注意
- 通常は［入］（お買い上げ時の設定）にして本機を使用してください。［切］（）にすると、落下時に本機のハードディスクを損傷するおそれがあります。
- 本機が無重力状態になると落下検出が作動します。ジェットコースターやスカイダイビングなど、本機が無重力状態で撮影するときは、［切］に設定すると落下検出が作動しません。

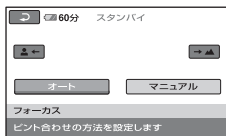
オプションメニューで設定する

パソコンの右クリックのような役割がオプションメニューです。そのときに設定できるさまざまな機能が表示されます。

設定のしかた

1 本機を使用中に、画面の（オプション）ボタンをタッチする。

（オプション）ボタン

タブ

2 希望の項目をタッチする。

画面にないときは、他のタブをタッチして、表示させます。

3 希望の設定にして、OK をタッチする。

希望の項目が見当たらないときは

他のタブをタッチしてください。それでも見つからないときは、その機能は使えない状態になっています。

ご注意

- 表示されるタブや項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。
- タブが表示されない場合もあります。
- シンプル操作中はオプションメニューは使えません。

撮るときなどのオプションメニュー

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
フォーカス	–	64
スポットフォーカス	–	64
テレマクロ	–	64
カメラ明るさ	–	65
スポット測光	–	65
シーンセレクション	–	65
ホワイトバランス	–	66
COLOR SLOW SHTR	–	67
S. NIGHTSHOT PLS*[1]	–	67
SUPER NIGHTSHOT*[2]	–	67
タブ		
フェーダー	–	67
デジタルエフェクト	–	68
P.エフェクト	–	68
タブ		
録画モード	○	52
マイク基準レベル	–	68
画像サイズ	○	54
画質	○	55
セルフタイマー	–	68
静止画記録先	○	26
フラッシュモード*[1]	–	68
タイミング*[2]	–	28
音声記録*[2]	–	28

見るときなどのオプションメニュー

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
削除	○	36
日付指定削除	○	37
全削除	○	37
タブ		
分割	○	38
消去	○	41
全消去	○	41
移動	○	42
ーー(状況によってタブが変わる)		
へ追加	○	41
へ日付指定追加	○	41
印刷	○	44
スライドショー	–	32
音量	○	58
日時/データ表示	○	57
スライドショー設定	–	32
追加	○	40
日付指定追加	○	41
へコピー	○	39
へ日付でコピー	○	40
ーー(タブなし)		
印刷部数	–	45
日付/時刻	–	45
用紙サイズ	–	45

*[1] DCR-SR62
*[2] DCR-SR300

オプションメニューで設定する機能

ここではオプションメニューからのみ設定できる機能について説明します。

▶はお買い上げ時の設定です。

フォーカス

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。

① [マニュアル]をタッチする。
　🄵が表示される。

② [👤←](近くにピント合わせ)/[→▲](遠くにピント合わせ)をタッチしてピント調節。それ以上近くにピントを合わせられないときは 👤 が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは ▲ が表示される。

③ [OK]をタッチする。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で[オート]→[OK]をタッチ。

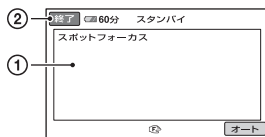
ご注意

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

ちょっと一言

- ピントは、始めにズームをT側(望遠)にしてピントを合わせてから、W側(広角)に戻していくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。
- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を数秒間表示します。(別売りのコンバージョンレンズを付けているときは正しく表示されません。)
  - ピントを合わせる設定を自動から手動に切り換えたとき
  - フォーカスを手動調節したとき

スポットフォーカス

画面中央から外れた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。

① 画面枠内の被写体にタッチする。
　🄵が表示される。

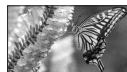
② [終了]をタッチする。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で[オート]→[終了]をタッチする。

ご注意

- スポットフォーカス中は、[フォーカス]が自動的に[マニュアル]になります。

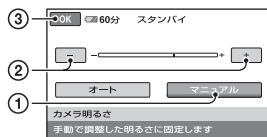
テレマクロ

背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。
[入](T🌷)にするとズーム(24ページ)が自動で望遠(T側)になり、DCR-SR62では約38cm、DCR-SR300では約45cmまでの近接撮影ができます。

解除するには、[切]をタッチする。またはズームを広角(W側)にする。

ご注意

- 被写体が遠いときはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([フォーカス]、64ページ)。

カメラ明るさ

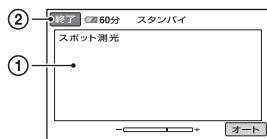
画像の明るさを手動で固定できます。背景に比べて被写体が明るすぎたり暗すぎたりするときなどに調節します。

① [マニュアル]をタッチする。
が表示される。

② [－]/[＋]で明るさを調節する。

③ [OK]をタッチする。

自動調節に戻すには、手順①で[オート]→[OK]をタッチする。

スポット測光(フレキシブルスポット測光)

被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。

① 画面枠内の撮影するポイントをタッチする。
が表示される。

② [終了]をタッチする。

自動調節に戻すには、手順①で[オート]→[終了]をタッチする。

ご注意

- フレキシブルスポット測光中は、[カメラ明るさ]は自動的に[マニュアル]になります。

シーンセレクション

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

▶オート
シーンセレクションを使わずに、自動的に効果的な画像になる。

夜景*（）
暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影できる。

夜景＆人物（）
静止画撮影時にフラッシュを使い、人物と背景を撮影する（DCR-SR300）。

キャンドル（）
キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮影できる。

日の出＆夕焼け*（）
日の出や夕焼けなどを雰囲気たっぷりに表現する。

打ち上げ花火*（）
打ち上げ花火をきれいに撮影する。

風景*（）
遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。

ソフトポートレート（）
背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。

スポットライト**（ ）

スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。

スポーツレッスン**（ ）

動きの速い被写体のぶれを小さくします（DCR-SR62）。

ビーチ**（ ）

海や湖畔などで、水の青さを鮮やかに撮影できる。

スノー**（ ）

ゲレンデなどの白い風景で、画面が暗くなるのを防ぎ、明るくする。

* 遠景のみにピントが合うように設定されます。
** 近くのものにピントが合わないように設定されます。

ご注意

- [シーンセレクション]を設定すると、[ホワイトバランス]の設定が解除されます。

ホワイトバランス

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。

▶**オート**

自動調節される。

屋外（ ）

次の撮影環境に合った色合いになる。
– 屋外
– 夜景やネオン、花火など
– 日の出、日没など
– 昼光色蛍光灯の下

屋内（ ）

次の撮影環境に合った色合いになる。
– 屋内
– パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所
– スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

ワンプッシュ（ ）

光源に合わせてホワイトバランスを固定する。

① [ワンプッシュ]をタッチする。
② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。
③ [ ]をタッチする。
 が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節される。終わると点灯に変わる。

ご注意

- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[オート]に設定するか、[ワンプッシュ]の手順で色合いを調節してください。
- ワンプッシュ設定時の の速い点滅中は、白いものを映しつづけてください。
- [ワンプッシュ]が設定されなかった場合、 がゆっくり点滅します。
- [ワンプッシュ]で設定するとき、OK をタッチしても が点滅する場合は、[オート]に設定してください。
- [ホワイトバランス]を設定すると、[シーンセレクション]が[オート]に戻ります。

ちょっと一言

- [オート]でバッテリーを交換したときや屋内外を移動したときは、白っぽい被写体に向けて[オート]で約10秒間撮影すると、最適な色合いになります。
- [ワンプッシュ]設定中に、[シーンセレクション]の効果を変えたり、屋外と屋内を行き来したりしたときは、再び[ワンプッシュ]の手順を行ってください。

COLOR SLOW SHTR (Color Slow Shutter)

[COLOR SLOW SHTR]を[入]にすると、暗い場所でも明るくカラーで撮影できます。
画面に が表示される。
解除するには、[切]をタッチする。

ご注意
- ピントが合いにくい場合は、手動でピントを合わせてください（[フォーカス]、64ページ）。
- シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。
- （静止画）ランプが点灯しているときは、DCR-SR300でのみ設定できます。

S. NIGHTSHOT PLS (Super NightShot plus) (DCR-SR62)

暗い場所でNightShot plusの最大16倍の感度で撮影できます。
あらかじめNIGHTSHOT PLUSスイッチ（26ページ）を「入」にした状態で[S. NIGHTSHOT PLS]を[入]にする。
が表示される。
解除するには、[S. NIGHTSHOT PLS]を[切]にする。

ご注意
- 明るい場所で使うと故障の原因になります。
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください。
- コンバージョンレンズ（別売り）は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください（[フォーカス]、64ページ）。
- シャッタースピードが明るさによって変わるため、画像の動きが遅くなることがあります。

SUPER NIGHTSHOT (DCR-SR300)

暗い場所でNightShotの最大16倍の感度で撮影できます。
あらかじめNIGHTSHOTスイッチ（26ページ）を「入」にした状態で[SUPER NIGHTSHOT]を[入]にする。 が表示される。
解除するには、[SUPER NIGHTSHOT]を[切]にする。

ご注意
- 明るい場所で使うと故障の原因になります。
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください。
- コンバージョンレンズ（別売り）は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください（[フォーカス]、64ページ）。
- シャッタースピードが明るさによって変わるため、画像の動きが遅くなることがあります。

フェーダー

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

① スタンバイ中（フェードインのとき）、または撮影中（フェードアウトのとき）に使いたい効果を選んで OK をタッチする。
② スタート/ストップボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消える。

操作開始前に解除するには、①で[切]をタッチする。
一度スタート/ストップボタン押すと設定は解除されます。

ホワイトフェーダー

ブラックフェーダー

デジタルエフェクト

[オールドムービー]を選択するとD✦が表示され、昔の映画のような画像で撮影できます。
解除するには、[切]をタッチする。

P.エフェクト(ピクチャーエフェクト)

特殊効果を加えて撮影できます。P✦が表示されます。

▶**切**
ピクチャーエフェクトを使わない。

セピア
古い写真のような画像。

モノトーン
白黒の画像。

パステル
淡い色の画像。

マイク基準レベル

録音時のマイクレベルを選べます。
演奏会などで、臨場感のある音を録音したいときは[低]を選びます。

▶**標準**
周囲の音を一定のレベル内におさめて録音する。

低( )
周囲の音を忠実に録音する。(日常の会話の録音などには適していません。)

セルフタイマー

約10秒後に静止画を撮影します。
[入]( )のときにフォトボタンを押す。
秒読みを停止するには[リセット]をタッチする。
解除するには[切]をタッチする。

ちょっと一言
- リモコンのフォトボタンでも操作できます(115ページ)。

フラッシュモード(DCR-SR62)

本機に対応している外付けフラッシュ(別売り)をお使いのときに設定できます。外付けフラッシュを本機のアクティブインターフェースシュー(113ページ)に取り付けてください。

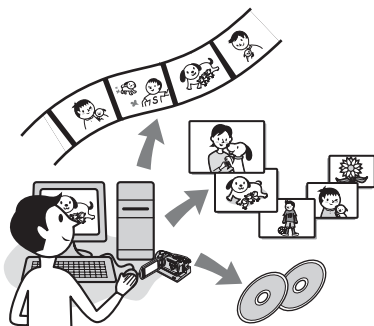
▶**入**( )
撮影時に常に発光する。

オート
撮影時に自動で発光する。

Windowsパソコンでできること

付属のCD-ROMからWindowsパソコンに、「Picture Motion Browser」をインストールすると、次のような操作を楽しむことができます。

ご注意

- 付属のソフトウェアはMacintoshでは使用できません。

主な機能

■ ワンタッチ ディスク機能でDVDを作成する（73ページ）

ハンディカムステーションのワンタッチ ディスクボタンを押して、撮影した画像をそのままDVDに保存できます。かんたんな操作でDVDを作成できます。

■ 本機で撮影した画像をパソコンに取り込む（78ページ）

本機で撮影した画像をかんたんな操作でパソコンに取り込むことができます。

■ 本機の画像をパソコンから削除する（81ページ）

パソコンを操作して、本機に記録された画像を削除できます。

■ パソコンに取り込んだ画像を見る（82ページ）

本機で撮影した画像を撮影した日時ごとに管理し、サムネイル表示から選んで見ることができます。拡大表示やスライドショーでの再生もできます。

■ 取り込んだ画像を編集してDVDを作成する

パソコンに取り込んだ画像を編集できます（84ページ）。また、画像を選んでDVDを作成できます（86ページ）。

■ 本機のプレイリストをもとにDVDを作成する（87ページ）

本機でプレイリストに登録した画像を、かんたんな操作でDVDに保存できます。

■ 作成したDVDをコピーする → Video Disc Copier（89ページ）

作成したDVDをそのままコピーできます。

ソフトウェア付属のヘルプのご案内

ソフトウェアのすべての機能を説明しています。本書で操作の概要を理解したうえで、さらに詳しい操作方法を知りたいときは、ヘルプをご覧ください。
ヘルプを見るには、画面上の ? マークをクリックしてください。

サポートのご案内

パソコンとの接続方法など
http://www.sony.co.jp/cam/support/

付属ソフトウェア（Picture Motion Browser）について
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

パソコンの環境

「Picture Motion Browser」を使うときのパソコン環境

対応OS：Microsoft Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Windows XP Professional/Windows XP Media Center Edition
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

CPU: Intel Pentium III 1GHz以上

必要なソフトウェア：DirectX 9.0c以降（DirectXテクノロジに対応しておりますので、ご使用の際はDirectXが組み込まれている必要があります。）

サウンドカード：Direct Sound対応のサウンドカード

メモリー：256MB以上

ハードディスク：
インストールに必要なハードディスク容量：約600MB（DVDを作成する場合は、5GB以上必要になることがあります。）

ディスプレイ：DirectX 7以上対応のビデオカード、解像度は1024×768ドット以上、High Color（16ビット カラー）

その他必要な装置：USB端子標準装備、DVD作成が可能なディスクドライブ（インストールにはCD-ROMドライブが必要）

パソコンで"メモリースティック デュオ"の画像を見るときのパソコン環境

対応OS：Microsoft Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Windows XP Professional/Windows XP Media Center Edition
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードした場合は動作保証いたしません。

CPU：MMX Pentium 200MHz以上

その他必要な装置：USB端子標準装備

ご注意

- 動作保証されているパソコン環境でも、画像がコマ落ちしてなめらかに再生できない場合があります。取り込んだ画像や作成するディスクの画質には影響ありません。
- 上記の必要条件を満たすすべてのパソコン環境について動作を保証するものではありません。
- 「Picture Motion Browser」は5.1ch音声の再生に対応しておりません。2ch音声の再生になります。
- ノートパソコンをご使用の場合、パソコンをACアダプターにつないでご使用ください。パソコンの省電力機能により、正常に動作しない場合があります。

ちょっと一言

- パソコンにメモリースティック スロットがある場合は、メモリースティック デュオ アダプター（別売り）を使って、"メモリースティック デュオ"に保存した画像をパソコンに取り込むこともできます。
- "メモリースティック PRO デュオ"をお使いの際にパソコンが"メモリースティック PRO デュオ"に対応していない場合は、パソコンのメモリースティック スロットを使用せずに本機をUSBケーブルでつないでください。

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

- USBケーブルなどで接続する場合、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。
- パソコンから本機の画像を操作する場合は、必ず付属のソフトウェアをご使用ください。

本書のパソコン画面について

- 本書の説明に使用しているパソコンの画面は、Windows XPのものです。お使いのOSによって画面表示は異なります。
- 本書では、日本語のパソコン画面を使用して説明しています。インストール時に他の言語を選ぶこともできます（71ページ）。

ソフトウェアをインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、ソフトウェアをインストールします。1度インストールすれば、次回からインストールは不要です。
パソコンのOSによってインストールする内容や手順が異なります。
あらかじめ本機とハンディカムステーション、USBケーブルをご用意ください。

1 パソコンに本機がつながれていないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

- Administrator権限/コンピューターの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM(付属)をセットする。

インストール画面が表示される。

インストール画面が表示されないときは

❶ [スタート]→[マイ コンピュータ]の順にクリックする。(Windows 2000の場合は、[マイ コンピュータ]をダブルクリックする。)

❷ [SONYPICTUTIL (E:)](CD-ROM)*をダブルクリックする。

*ドライブ文字((E:)など)は、使うパソコンによって異なることがあります。

4 [インストール]をクリックする。

5 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

6 お住まいの国/地域を確認し、[次へ]をクリックする。

ちょっと一言
- ソフトウェアに対して、国/地域の設定を行います。

7 [使用許諾契約]の内容をよく読み、同意する場合は[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択し、[次へ]をクリックする。

8 本機をハンディカムステーションに取り付けて、電源を入れる。

9 ハンディカムステーションとパソコンをUSBケーブルで接続し、パソコンの接続確認画面で[次へ]をクリックする。

ご注意
- パソコンの再起動を求める画面が表示されることがありますが、ここではパソコンを再起動する必要はありません。[いいえ]を選んで、インストールを続けてください。

10 以降、画面の指示に従ってインストールを進める。

お使いのパソコン環境によっては、以下のソフトウェアのインストール画面が表示される場合があります。画面の指示に従ってインストールしてください。

- i-Jumpエンジン V.3.5
  画像を携帯電話やパソコンに送ることができるソフトウェア
- Windows Media Format 9 Series Runtime (Windows 2000のみ)
  DVD作成に必要なソフトウェア
- Microsoft DirectX 9.0c
  動画を扱うために必要なソフトウェア

ご注意

- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。

11 [はい、今すぐコンピュータを再起動します]が選択されていることを確認して、[完了]をクリックする。

パソコンが再起動します。
デスクトップ画面に (Picture Motion Browser)などのショートカットが表示されます。

12 パソコンからCD-ROMを取り出す。

ちょっと一言

- USBケーブルの抜きかたは75ページをご覧ください。

インストールすると、デスクトップ上にソニー製品カスタマー登録WEBサイトのショートカットが表示されます。

- カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
  http://www.sony.co.jp/di-regi/
- Picture Motion Browserについての情報は、下記のWEBサイトをご覧ください。
  http://www.sony.co.jp/support-disoft/

インストールすると、デスクトップ上にSonyマイページのショートカットが表示されます。

- マイページでは、お持ちの登録製品に合わせたサポート情報をご覧いただけます。
  http://www.sony.co.jp/mypage

ワンタッチでDVDを作成する

使用できるDVDの種類

付属のソフトウェアで使用できるDVDは次の表のとおりです。これらのDVDでも、お使いのパソコンによっては使用できない場合があります。お使いのパソコンが書き込み可能なDVDについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。また、DVDを再生する機器によっては再生できないDVDがあります。再生機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

種　類	特　徴
DVD－R	• 書き換えできません。 • 比較的安価で、主に保存用に使用します。 • 再生可能な機器が最も多い。
DVD+R	• 書き換えできません。
DVD+R DL	• DVD+Rの記録層を2層化して、記録可能容量を増やした種類。 • 書き換えできません。
DVD－RW	• 書き換えて再利用可能です。
DVD+RW	• 書き換えて再利用可能です。

- 8cmディスクはお使いになれません。
- DVD+RWに保存するときは、VIDEOフォーマットで記録されるため、データの追記はできません。
- 信頼できるメーカーのDVDを使用してください。粗悪な品質のDVDを使用した場合、正常に画像を保存できない場合があります。

ワンタッチで画像をDVDに保存する（ワンタッチ ディスク）

ハンディカムステーションのワンタッチディスクボタンを押すだけで、パソコンの複雑な操作をしなくても、本機のハードディスクに撮影した画像をかんたんにDVDに保存できます（ワンタッチ ディスク機能）。
本機のハードディスクに保存されているデータのうち、まだワンタッチ ディスク機能を使ってDVDに保存していない画像が自動的に選ばれて書き込まれます。

ちょっと一言

- すでにこの機能でDVDに保存した画像データは、2度目以降はDVDに保存されません。2度目以降に画像をDVDに保存するには、いったん画像をパソコンに取り込んでください（78ページ）。そのあと「DVDを作成する/コピーする」の手順でDVDに保存してください。（86ページ）
- 画像の保存履歴は、パソコンのユーザーアカウントごとに保存されます。そのため、一度DVDに保存した画像でも、異なるユーザーアカウントを使うと、再びDVDに保存されます。
- 書き込む画像データが1枚のDVDに収まらない場合は、自動的に複数枚のDVDに書き込みます。必要なDVDの枚数は、手順**7**の画面に表示されます。
- 複数枚のDVDに渡って画像を保存した場合は、静止画は1枚目のDVDに保存されます。
- 5.1chサラウンド音声で録画した動画は、5.1chサラウンド音声のままDVDに保存されます（DCR-SR300）。

ご注意

- ワンタッチ ディスク機能を使ってDVDに記録した静止画は、通常のDVDプレーヤーでは再生できません。パソコンを使って再生してください。

1 パソコンにハンディカムステーションがつながれていないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

3 パソコンのDVDドライブに、空のDVDを入れる。

ちょっと一言

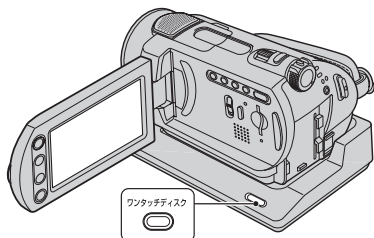
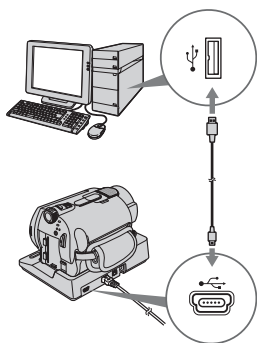
- 新しいDVDを使用することをおすすめします。
- パソコンで自動的にソフトウェアが起動した場合は、終了してください。

4 ACアダプターをハンディカムステーションと壁のコンセントにつなぐ。

5 本機をハンディカムステーションに取り付けて、電源を入れる。

ちょっと一言

- 本機の電源ランプの点灯位置は、（動画）/（静止画）のどちらでも操作できます。

6 ハンディカムステーションのワンタッチ ディスクボタンを押す。

7 USBケーブルでハンディカムステーションの（USB）端子とパソコンをつなぐ。

パソコンの画面にDVDの認識中の画面が表示されます。
認識されると、DVDへの書き込みが始まります。

ご注意

- 端子の向きを確認せずに無理に押し込まないでください。押し込むとケーブルやハンディカムステーション、パソコンの故障の原因となります。

💡 **ちょっと一言**

- 本機はHi-Speed USB（USB 2.0準拠）に対応しています。Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）対応のUSBインターフェイスに接続すると、高速な転送（High-Speed 転送）が行えます。Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）に未対応のUSBインターフェイスに接続した場合、USB1.1相当の転送速度（Full-Speed 転送）になります。

A ワンタッチ ディスク作成全体の進捗状況

B DVD1枚の書き込み進捗状況

C 作成に必要なDVDの枚数

D 作成中のDVDの枚数

DVDへの書き込みが完了すると、自動的にパソコンのDVDドライブが開きます。

ご注意

- DVD作成中は本機に振動を与えないでください。DVD作成が中断することがあります。
- パソコンの他のUSB端子には何もつながないでください。

💡 **ちょっと一言**

- 手順**3**で、記録済みのDVD-RW/+RWを入れた場合には、記録されたデータを消去するか選択するメッセージが表示されます。
- 記録するデータ量が1枚のDVDで収まらない場合は、パソコン画面の指示に従って、新しいDVDをパソコンに入れてください。

8 パソコンの画面にDVD作成終了の画面が表示されたら、[閉じる]をクリックする。

続いて同じDVDを作成する場合には、[もう一組作成]をクリックする。

💡 **ちょっと一言**

- 本機の［USB機能選択］画面で［ワンタッチ ディスク］を選んで、DVDを作成することもできます。（76ページ）
- 「HDD ハンディカム ユーティリティー」で[ワンタッチ ディスク]を選んで、DVDを作成することもできます。（76ページ）

USBケーブルを抜くには

① 本機の画面上の[終了]をタッチする。

② パソコン画面の右下にあるタスクトレイの中の、[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックする。

③ [USB大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します]をクリックする。

④ 本機の画面上の[はい]をタッチする。

⑤ USBケーブルをハンディカムステーションとパソコンから抜く。

ご注意

- 本機のアクセスランプが点灯中はUSBケーブルを抜かないでください。
- 本機の電源を切るときは、上記の手順に従ってUSBケーブルを抜いてから電源を切ってください。
- 正しい手順でUSBケーブルをはずさないと、本機のハードディスク、または"メモリースティック デュオ"内のファイルが正しく更新されない場合があります。また、本機のハードディスク、または"メモリースティック デュオ"の故障の原因になります。

DVDが完成したら

- DVD作成が終わったら、DVDプレーヤーで再生できるか確かめてください。DVDが正常に再生できないときは、画像をいったんパソコンに取り込んでください(78ページ)。そのあと「DVDを作成する/コピーする」の手順でDVDに保存してください(86ページ)。
- 作成したDVDが正常に再生できることを確かめたら、本機のハードディスクの空き容量を増やすために、画像データを削除することをおすすめします。削除の方法については、36ページをご覧ください。
- 作成したDVDをコピーするには、付属のDVD複製ソフトウェアを使用してください(89ページ)。
- ワンタッチ ディスクでは、パソコンのハードディスクに画像データは保存されません。
- ワンタッチ ディスクでは、本機のハードディスクの画像データは削除されません。
- 作成したDVDに記録された画像をパソコンで編集することはできません。パソコンで画像を編集したい場合は、パソコンに画像を取り込んでください(78ページ)。
- DVD作成が異常終了した場合は、正常に書き込むことができた最後のファイルまでが書き込み済みとなります。次にワンタッチ ディスク機能でDVDを作成するときは、まだDVDに書き込まれていない画像データから記録されます。
- かんたんPCバックアップでパソコンに取り込み済みの画像でも、ワンタッチ ディスク機能を使ってDVDに保存することができます。

本機の[USB機能選択]画面 から[ワンタッチ ディスク]を行うには

① パソコンの電源を入れる。

② パソコンのDVDドライブに、空のDVDを入れる。

③ ACアダプターをハンディカムステーションと壁のコンセントにつなぐ。

④ 本機をハンディカムステーションに取り付けて、電源を入れる。

⑤ USBケーブルでハンディカムステーションの(USB)端子とパソコンをつなぐ。

本機の画面上に[USB機能選択]画面が表示されます。

- 接続方法は74ページをご覧ください。

⑥ 本機の画面上の[ワンタッチ ディスク]をタッチする。

パソコンの画面にDVDの認識中の画面が表示されます。

認識されると、DVD作成が始まります。

パソコンの「HDD ハンディカム ユーティリティー」で[ワンタッチ ディスク]を行うには

① パソコンの電源を入れる。

② パソコンのDVDドライブに、空のDVDを入れる。

③ ACアダプターをハンディカムステーションと壁のコンセントにつなぐ。

④ 本機をハンディカムステーションに取り付けて、電源を入れる。

⑤ USBケーブルでハンディカムステーションの(USB)端子とパソコンをつなぐ。
本機の画面上に[USB機能選択]画面が表示されます。

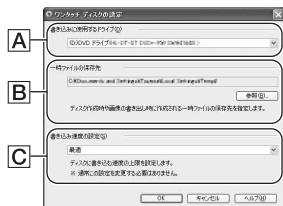
- 接続方法は74ページをご覧ください。

⑥ 本機の画面上の[パソコン接続]をタッチする。
パソコンの画面に「HDD ハンディカム ユーティリティー」が起動します。

⑦ パソコンの画面で[ワンタッチ ディスク]をクリックする。

⑧ [ディスク作成開始]ボタンをクリックする。
パソコンの画面にDVDの認識中の画面が表示されます。
認識されると、DVD作成が始まります。

DVDを作成するパソコンのDVDドライブの設定をするには

① 「パソコンの「HDD ハンディカム ユーティリティー」で[ワンタッチ ディスク]を行うには」の手順⑦で[設定]ボタンをクリックする。

A ドライブ設定
書き込みに使うドライブを設定します。

B 一時ファイルの保存先
参照ボタンをクリックして表示される画面で、一時ファイルを保存するフォルダを設定します。

C 書き込み速度
通常は[最適]を選んでください。書き込みがうまくいかない場合は、低い速度の値を選んでください。

② 設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックする。

画像をパソコンに取り込む

本機からパソコンに画像を取り込んで、パソコンで見たり、編集したり、取り込んだ画像を素材にDVDを作成できます。画像をパソコンに取り込むには、[かんたんPCバックアップ]、[選択画像取り込み]などの方法があります。

画像をまるごと取り込む（かんたんPCバックアップ）

「HDD ハンディカムユーティリティー」の[かんたんPCバックアップ]で、本機で撮影した画像を手軽にパソコンに取り込むことができます。
本機のハードディスクに保存されているデータのうち、まだ[かんたんPCバックアップ]機能を使ってパソコンに保存されていない画像が自動的に選ばれて、パソコンに取り込まれます。

1 **パソコンの電源を入れる。**

2 **ACアダプターをハンディカムステーションと壁のコンセントにつなぐ。**

3 **本機をハンディカムステーションに取り付けて、電源を入れる。**

4 **USBケーブルでハンディカムステーションの⫯（USB）端子とパソコンをつなぐ。**

本機の画面上に[USB機能選択]画面が表示されます。

• 接続方法は74ページをご覧ください。

5 **本機の画面上の[⊖パソコン接続]をタッチする。**

パソコンの画面に「HDD ハンディカムユーティリティー」が起動します。

6 **パソコンの画面で[かんたんPCバックアップ]をクリックする。**

7 **取り込みたい画像の種類（動画/静止画）と画像の取り込み先を選ぶ。**

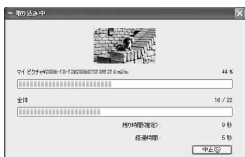
A 取り込み対象

動画/静止画をそれぞれ取り込む対象とするかを設定します。
初期設定では、動画/静止画の両方が取り込み対象になっています。

B 取り込み先フォルダ

[変更]ボタンをクリックして、取り込み先のフォルダを変更できます。
初期設定では、[マイ ピクチャ]に設定されています。

8 [取り込み開始]ボタンをクリックする。

まだパソコンに取り込まれていない画像データの取り込みが始まります。

画像の取り込みが完了すると、「Picture Motion Browser」が起動して画像一覧画面が表示されます。

ご注意

- 取り込み中は本機に振動を与えないでください。取り込みが中断することがあります。

画像を選んでパソコンに取り込む(選択画像取り込み)

「HDDハンディカムユーティリティ」の[選択画像取り込み]で、本機で撮影した画像のうち選んだ画像だけをパソコンに取り込むことができます。

1 パソコンの電源を入れる。

2 ACアダプターをハンディカムステーションと壁のコンセントにつなぐ。

3 本機をハンディカムステーションに取り付けて、電源を入れる。

4 USBケーブルでハンディカムステーションの(USB)端子とパソコンをつなぐ。

本機に[USB機能選択]画面が表示されます。

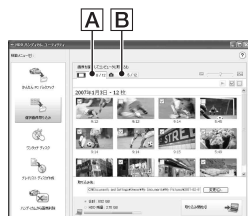
- 接続方法は74ページをご覧ください。

5 本機の画面上の[パソコン接続]をタッチする。

パソコンの画面に「HDD ハンディカム ユーティリティー」が起動します。

6 パソコンの画面で[選択画像取り込み]をクリックする。

取り込む画像の選択画面が表示されます。
本機のハードディスクに保存された画像が、画像の種類(動画/静止画)ごとにタブに分かれて、サムネイル表示されます。

7 動画を取り込むには［動画］のタブを、静止画を取り込むには［静止画］のタブをクリックする。

A動画

B静止画

8 取り込みたい画像を選ぶ。

取り込みたい動画または静止画のサムネイルの左上にあるチェックボックスをクリックして、チェックをつけます。選んだタブのすべての画像を取り込むときは、［✔］（すべて選択）をクリックします。

ちょっと一言
- タブを切り換えて、動画と静止画を同時に選ぶことができます。
- ［変更］ボタンをクリックして、取り込み先のフォルダを変更できます。
  取り込み先のフォルダの場所は、初期設定では［マイ ピクチャ］に設定されています。
  ［変更］ボタンをクリックして表示される画面で、［閲覧フォルダ］に設定されているフォルダを取り込み先として指定することができます。

9 ［取り込み開始］ボタンをクリックする。

選んだ画像の取り込みが始まります。

パソコンのメモリースティック スロットから画像をパソコンに取り込む

パソコンのメモリースティック スロットに、撮影した画像を保存した“メモリースティック デュオ”を入れて、画像を取り込むことができます。

ちょっと一言
- 本機とパソコンを接続して、“メモリースティック デュオ”に記録されている静止画をパソコンに取り込むこともできます（81ページ）。

① パソコンの電源を入れる。

② パソコンのメモリースティック スロットに記録済みの“メモリースティック デュオ”を入れる。

③ デスクトップの［ ］（Picture Motion Browser）をダブルクリックする。
「Picture Motion Browser」が起動します。

④ ［ ］をクリックする。
［ファイル］メニューの［画像の取り込み］を選んでも、同じ画面が表示されます。

⑤ ［デジタルスチルカメラ/メモリースティック（DCF形式）］を選んで、［OK］ボタンをクリックする。

⑥ 取り込みたい画像が保存されているメディアを選ぶ。

⑦ 画像の取り込み先を選ぶ。

ちょっと一言
- 取り込み先フォルダの場所は、初期設定では［マイ ピクチャ］に設定されています。［変更］ボタンをクリックして表示される画面で［閲覧フォルダ］として設定されているフォルダを取り込み先として指定できます。

⑧ ［取り込み開始］ボタンをクリックする。
画像の取り込みが始まります。

“メモリースティック デュオ”の静止画をUSB経由でパソコンに取り込むには

本機とパソコンを接続して、“メモリースティック デュオ”に記録されている静止画をパソコンに取り込むことができます。

① パソコンの電源を入れる。

② ACアダプターをハンディカムステーションと壁のコンセントにつなぐ。

③ 本機をハンディカムステーションに取り付けて、電源を入れる。

④ USBケーブルでハンディカムステーションのψ(USB)端子とパソコンをつなぐ。
本機の画面上に[USB機能選択]画面が表示されます。
- 接続方法は74ページをご覧ください。

⑤ 本機の画面上の[パソコン接続]を選ぶ。
パソコンの画面に画像の取り込み画面が表示されます。

⑥ 取り込み元のドライブを選ぶ。

⑦ 取り込む画像の保存先を選ぶ。

⑧ [取り込み開始]をクリックする。
静止画が指定したフォルダに取り込まれます。

画像の保存先について

画像の取り込み先は、初期設定では[マイピクチャ]フォルダ内の日付(取り込んだ日付)フォルダに保存されます。

本機の画像をパソコンから削除する

「Picture Motion Browser」で本機のハードディスク上の画像データを削除します。

ご注意
- いったん削除した画像は元に戻せません。
- “メモリースティック デュオ”に保存された画像は削除できません。

1 パソコンの電源を入れる。

2 ACアダプターをハンディカムステーションと壁のコンセントにつなぐ。

3 本機をハンディカムステーションに取り付けて、電源を入れる。

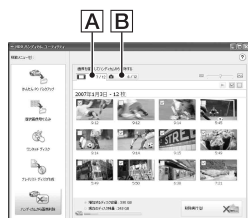
4 USBケーブルでハンディカムステーションのψ(USB)端子とパソコンをつなぐ。

本機に[USB機能選択]画面が表示されます。
- 接続方法は74ページをご覧ください。

5 本機の画面上の[パソコン接続]をタッチする。

パソコンの画面に「HDD ハンディカム ユーティリティー」が起動します。

6 [ハンディカムから画像削除]をクリックする。

画像の選択画面が表示されます。
本機のハードディスクに保存された画像が、画像の種類(動画/静止画)ごとにタブに分かれて、サムネイル表示されます。

A動画

B静止画

7 削除したい画像を選ぶ。

削除したい動画または静止画のサムネイルの左上にあるチェックボックスをクリックして、チェックをつけます。

8 動画を削除するには[動画]のタブを、静止画を削除するには[静止画]のタブをクリックする。

9 [削除実行]をクリックする。

確認画面が表示される。

10 [はい]をクリックする。

ちょっと一言

- USBケーブルの抜きかたは75ページをご覧ください。

パソコンに取り込んだ画像を見る

パソコンに取り込んだ画像を、登録したフォルダごとに表示(フォルダビュー)したり、撮影した日付ごとに表示(カレンダービュー)して見ることができます。

1 パソコンの電源を入れる。

2 デスクトップにある[ ](Picture Motion Browser)をダブルクリックする。

「Picture Motion Browser」が起動します。

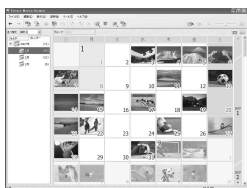
3 フォルダ/カレンダー切り替えタブで[フォルダ]または[カレンダー]をクリックする。

[フォルダ]をクリックしたときは、登録されているフォルダの一覧が表示されます。
[カレンダー]をクリックしたときは、日付ツリーに画像のある年および月が一覧表示されます。

4 見たい画像が保存されているフォルダ、または見たい画像を撮影した年/月アイコンをクリックする。

フォルダをクリックしたときは、フォルダ内の画像のサムネイルが一覧表示されます。
年/月アイコンをクリックしたときは、カレンダーが表示されます。カレンダーの日付欄には、その日に撮影された画像のサムネイルが表示されます。

フォルダを選んだとき

月アイコンを選んだとき

ちょっと一言

- 1年ごとのカレンダーが表示されているときに、月をクリックすると、その月のカレンダーに切り替わります。
- 1ヶ月ごとのカレンダーが表示されているときに、日付をクリックすると、その日の時間ごとのカレンダーに切り替わります。撮影された時間ごとに、1時間単位でサムネイル表示されます。

画像を大きく表示して見るには

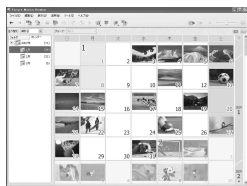
サムネイルをダブルクリックします。
一枚表示画面が開いて、選んだ画像が拡大表示されます。
動画を選んだときは、スライダーと再生操作のボタンが表示され、再生が始まります。

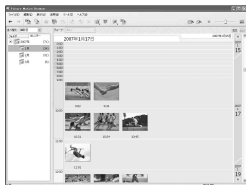
静止画を選んだとき

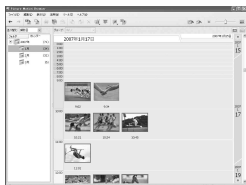
動画を選んだとき

画像を連続再生するには

好みの画像を選び、スライドショーで再生できます。静止画と動画を組み合わせることもできます。ここでは、カレンダービューで画像を表示してスライドショーを始める手順を説明します。

① パソコンの電源を入れる。
② デスクトップにある[ ](Picture Motion Browser)をダブルクリックする。
「Picture Motion Browser」が起動します。

③ フォルダ/カレンダー切り替えタブの[カレンダー]をクリックする。

④ 連続再生したい画像が撮影された日付をクリックする。
選んだ日付に撮影された画像が一覧表示されます。

⑤ 画像を選ぶ。
選んだ画像には青い枠が付きます。

- メイン画面の画像表示エリアで並んで表示されている画像を同時に選ぶには、最初の画像をクリックし、「Shift」キーを押しながら最後の画像をクリックします。
並んでいない複数の画像を選ぶには、「Ctrl」キーを押しながらクリックします。

⑥ [ ]をクリックする。
選んだ画像が全画面で表示され、スライドショーで再生が始まります。
スライドショーで再生しているときにマウスを動かすと、再生操作を行う操作バーが表示され、再生操作や音量の調整などができます。

パソコンから不要な画像を削除するには

① 削除したい画像のサムネイルを右クリックする。

② [削除]→「はい」をクリックする。

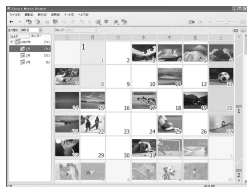
取り込んだ画像を編集する

動画を編集する

動画の必要な部分だけを切り取って保存することができます。

1 パソコンの電源を入れる。

2 デスクトップにある[ ](Picture Motion Browser)をダブルクリックする。

「Picture Motion Browser」が起動します。

3 フォルダビューまたはカレンダービューで、加工する動画を選択する(82ページ)。

4 [ ]をクリックして、[動画編集]を選ぶ。

動画編集画面が表示されます。

ちょっと一言

- メイン画面の［活用］メニューから［動画編集］を選ぶか、一枚表示画面の［ ］の補正メニューから［動画編集］を選んで表示することもできます。

5 ［◀II］、［II▶］ボタンやスライダーを使ってIN点（残したい部分の最初）にしたいシーンを選び、［IN点に設定］ボタンをクリックする。

設定したIN点の画像が［IN点］のサムネイルに表示されます。

6 同様にOUT点（残したい部分の最後）にしたいシーンを選び、［OUT点に設定］ボタンをクリックする。

設定したOUT点の画像が［OUT点］のサムネイルに表示されます。

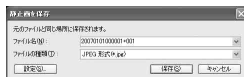
7 設定が完了したら、［編集した画像を保存］ボタンをクリックする。

動画の保存画面が表示されます。編集後のファイルは、元のファイルと違うファイル名で保存されます。

8 ［保存］ボタンをクリックして、編集した動画を保存する。

保存には時間がかかります。完了するとメッセージが表示されるので、［OK］をクリックします。

動画の任意のシーンを静止画として保存するには

動画編集の画面で［静止画を保存］ボタンをクリックすると、表示されている画面を静止画として保存できます。
元のファイルと同じ場所に保存されます。

ちょっと一言

- ［静止画を保存］ボタンをクリックしたあとに表示される画面で［設定］ボタンをクリックすると、静止画を保存するときのノイズリダクションや色補正の設定をすることができます。

静止画を編集する

取り込んだ静止画に、以下の加工をすることができます。操作について詳しくは、「Picture Motion Browser」のヘルプをご覧ください。

自動補正
明るさとコントラストを、その静止画に適したレベルに合わせて自動的に補正します。

明るさ補正
明るさやコントラストを補正します。暗い部分のみや明るい部分のみを補正することもできます。

彩度
彩度を調整します。

シャープネス
輪郭をシャープに強調します。

トーンカーブ
上部のドロップダウンリストに表示されているチャンネル(色)のヒストグラムとトーンカーブが表示されます。
各チャンネルについて、トーンカーブを調整できます。

赤目補正
人物の目がフラッシュによって赤色に撮影される現象を起こしている場合、赤目の部分を除去して補正します。

トリミング
静止画のお好みの部分を切り抜くことができます。

リサイズ
静止画の大きさを変更して任意のフォルダに保存できます。

撮影日時の変更
静止画の撮影日時を一括で変更できます。

日付挿入
静止画に日付を挿入することができます。

DVDを作成する/コピーする

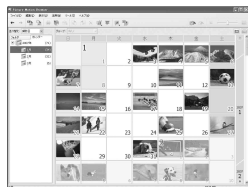
画像を選んでDVDを作成する

パソコンに取り込んだ動画や静止画にメニューをつけて、DVDビデオを作成することができます。

ちょっと一言
- 選んだ画像はそのままDVDに書き込まれます。動画に不要な部分があるときは、あらかじめ編集してください(84ページ)。

1 **パソコンの電源を入れ、DVDドライブに空のDVDを入れる。**

2 **デスクトップにある[ ](Picture Motion Browser)をダブルクリックする。**

「Picture Motion Browser」が起動します。

3 **フォルダビューまたはカレンダービューで、DVDに書き込む画像を選択する(82ページ)。**

複数の画像を選んだり、フォルダごと、日付ごとで選ぶこともできます。

ちょっと一言
- メイン画面の画像表示エリアで並んで表示されている画像を同時に選ぶには、最初の画像をクリックし、「Shift」キーを押しながら最後の画像をクリックします。
並んでいない複数の画像を選ぶには、「Ctrl」キーを押しながらクリックします。

4 [活用]メニューから[DVD-Video作成]を選ぶ。

画像の選択画面が表示されます。

5 DVDに書き込む画像を確認する。

右上にチェックマークが付いている画像が、撮影日時順にDVDに書き込まれます。表示された画像をすべて書き込むときは、[すべて選択]ボタンをクリックします。

ちょっと一言

- 画像をダブルクリックすると、動画を再生したり、静止画を一枚表示できます。
- 画像を追加したいときは、メイン画面の画像表示エリアで追加する画像を選び、ドラッグ＆ドロップすると画像の選択画面に追加できます。

6 [次へ]ボタンをクリックする。

DVDのメニュー設定画面が表示されます。

7 DVDメニューのデザインとタイトルの作成方法を選び、ディスク名を入力する。

作成されるDVDビデオのメニューのイメージ画像が表示されます。

ちょっと一言

- タイトルの作成方法で[撮影日メニュー]を選ぶと、画像が自動的に撮影日順に並び替えられます。
- [フォント]をクリックすると、ディスク名やタイトルの文字色などを選べます。
- [プレビュー]をクリックすると、作成されるDVDビデオの出来上がりイメージを確認できます。
- [設定]ボタンをクリックすると設定画面が表示され、DVD初回再生時の動作や画質、静止画の切り替え間隔などを設定できます。

8 [作成開始]ボタンをクリックする。

DVDビデオの作成が始まります。

ちょっと一言

- 書き込みが終了したあと、同じDVDをもう1枚作成するかどうかを選べます。

プレイリストの画像をDVDに保存する

「HDD ハンディカム ユーティリティ」の[プレイリスト ディスク作成]を使って、本機で作成したプレイリストの画像をDVDに保存できます。

1 パソコンの電源を入れる。

2 パソコンのDVDドライブに、空のDVDを入れる。

3 ACアダプターをハンディカムステーションと壁のコンセントにつなぐ。

4 本機をハンディカムステーションに取り付けて、電源を入れる。

5 USBケーブルでハンディカムステーションの ψ（USB）端子とパソコンをつなぐ。

本機の画面上に［USB機能選択］画面が表示されます。

- 接続方法は74ページをご覧ください。

6 本機の画面上の［ パソコン接続］をタッチする。

パソコン画面に「HDD ハンディカム ユーティリティー」が起動します。

7 パソコンの画面で［プレイリストディスク作成］をクリックする。

8 ［ディスク作成］ボタンをクリックする。

プレイリストに登録されている動画がサムネイルで表示されます。

9 DVDに書き込む画像を確認する。

右上にチェックマークがついている画像が、プレイリスト上の並び順に書き込まれます。

10［次へ］ボタンをクリックする。

DVDメニュー設定画面が表示されます。

11 DVDメニューのデザインとタイトルの作成方法を選び、ディスク名を入力する。

作成されるDVDビデオのメニューのイメージ画像が表示されます。

ちょっと一言
- タイトルの作成方法で[撮影日メニュー]を選ぶと、画像が自動的に撮影日順に並び替えられます。
- [フォント]をクリックすると、ディスク名やタイトルの文字色などを選べます。
- [プレビュー]をクリックすると、作成されるDVDビデオの出来上がりイメージを確認できます。
- [設定]ボタンをクリックすると設定画面が表示され、DVD初回再生時の動作や画質、静止画の切り替え間隔などを設定できます。

12 [作成開始]ボタンをクリックする。

DVDビデオの作成が始まります。

ちょっと一言
- 書き込みが終了したあと、同じDVDをもう1枚作成するかどうかを選べます。

DVDをコピーする

記録済みのDVDの画像を、他のDVDにコピーすることができます。
DVDのバックアップをとることができます。
ここではパソコンのDVDドライブで、DVD-RW（12cm）に記録した画像をDVD-R（12cm）にコピーする手順を説明します。

1 パソコンの電源を入れる。

2 パソコンのDVDドライブに、記録済みのDVDを入れる。

3 パソコンで、[スタート]→[すべてのプログラム]（Windows2000では[プログラム]）→[Sony Picture Utility]→[Video Disc Copier]の順にクリックする。

DVDのコピー作成画面が表示されます。

4 コピー元、コピー先のDVDドライブを選ぶ。

ドライブやDVDの状態が表示されます。状態によってはコピーを開始できませんので、表示に従ってDVDの入れ替えやドライブの確認を行ってください。
パソコンのDVDドライブ内のDVDの情報を取得するのに、しばらく時間がかかります。DVDの情報が表示されるまで、しばらくお待ちください。

5 コピーを始める準備ができたら、[開始]ボタンをクリックする。

DVDのコピーが始まります。

ちょっと一言
- 書き込みが終了したあと、同じDVDをもう1枚作成するかどうかを選べます。

一時ファイルの保存先と書き込み速度を変えるには

DVDのコピー作成画面で、[設定]ボタンをクリックします。
[ディスクに書き込む前に、書き込み速度を指定する]を選んで[OK]ボタンを押すと、書き込む前にDVDへの書き込み速度を毎回指定できます。

ちょっと一言

- コピー元のDVDの容量によって必要な空き容量は異なります。

取り込んだ静止画を、以下のように活用することができます。操作について詳しくは、「Picture Motion Browser」のヘルプをご覧ください。

静止画を印刷する

取り込んだ静止画を印刷することができます。静止画の上に日付を表示して印刷することもできます。

ちょっと一言

- 動画の任意のシーンを静止画として保存して、印刷することができます。

静止画を電子メールで送る

メール送信用ソフトウェアを起動し、静止画をメールに添付して送ることができます。

ご注意

- お使いの電子メールソフトウェアでMAPIが有効になっている必要があります。MAPIについて詳しくは、電子メールソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- 動画をメールに添付することはできません。

他のソフトウェアで使う

「Picture Motion Browser」の画面から市販のアプリケーションを呼び出して、静止画を表示することができます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター（最後のページ）にお問い合わせください。

修理に出される場合のご注意

- 修理内容によってはハードディスクの初期化または交換が必要となることがあります。その場合、ハードディスク内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前にハードディスク内のデータを保存（バックアップ）してください（35ページ）。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。
- 修理において、不具合症状の発生/改善の確認のために、必要最小限の範囲でハードディスク内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製/保存することはありません。

全体操作/シンプル操作/リモコン

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける（13ページ）。
- ACアダプターをコンセントに差し込む（13ページ）。
- 本機をハンディカムステーションに正しく取り付ける（13ページ）。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET（リセット）ボタン（112ページ）を先のとがったもので押す（すべての設定が解除される）。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、温かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。

ボタンが操作できない。

- シンプル操作中は次のボタン/機能は使えません（19ページ）。
  – 逆光補正ボタン（27ページ）
  – 再生ズーム（31ページ）
  – 液晶画面バックライトの切り換え（18ページ）

（オプション）ボタンが表示されない。

- シンプル操作中はオプションメニューは使えません。

メニュー項目の設定が変わっている。

- シンプル操作中、ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります。
- シンプル操作中、次のメニュー項目の設定は固定されます。
  – 動画の［録画モード］：［SP］
  – 静止画の［■画質］：［ファイン］
  – ［日時/データ表示］：［日付時刻データ］

- 次のメニュー項目は、電源を「切（充電）」にして12時間以上経つと自動的にお買い上げ時の設定に戻ります。
  – [フォーカス]
  – [スポットフォーカス]
  – [カメラ明るさ]
  – [スポット測光]
  – [シーンセレクション]
  – [ホワイトバランス]
  – [マイク基準レベル]
  – [落下検出]

シンプルボタンを押してもメニュー設定が自動に切り換わらない。

- 次のメニュー項目はシンプル操作前の設定値が保持されます。
  – [ファイルナンバー]
  – [音量]
  – [TVタイプ]
  – [表示枚数]
  – [操作音]
  – [日時あわせ]
  – [エリア設定]
  – [サマータイム]
  – [画像サイズ]（DCR-SR300）
  – [デモモード]
  – [タイミング]（DCR-SR300）
  – [静止画記録先]
  – [音声記録]（DCR-SR300）
  – [フラッシュモード]（DCR-SR62）

本機があたたかくなる。

- 長時間電源を入れたままにしたためで、故障ではありません。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [リモコン]を[入]にする（61ページ）。
- 電池の＋極と－極を正しく入れる（115ページ）。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。

リモコン操作中に他のDVD機器が誤動作する。

- DVD機器のリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

バッテリー/電源

電源が途中で切れる。

- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる（自動電源オフ）。[自動電源オフ]の設定を変更する（61ページ）か、もう一度電源を入れる、またはACアダプターを使用する。
- バッテリーを充電する（13ページ）。

バッテリーの充電中、充電ランプが点灯しない。

- 電源スイッチを「切（充電）」にする（13ページ）。
- バッテリーを正しく取り付け直す（13ページ）。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している（13ページ）。
- 本機をハンディカムステーションに正しく取り付ける（13ページ）。

バッテリーの充電中、充電ランプが点滅する。

- バッテリーを正しく取り付け直す（13ページ）。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、テクニカルインフォメーションセンターに問い合わせる（最後のページ）。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（13ページ）。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。

バッテリーの消耗が速い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が速いときは寿命のため、新しいバッテリーに交換する（13ページ）。

液晶画面

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- 画面表示/バッテリーインフォボタン（またはリモコンの画面表示ボタン）を押す（18ページ）。

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- タッチパネルを調節（キャリブレーション）する（109ページ）。

メニュー項目が灰色で表示され、選択できない。

- その項目は選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります（98ページ）。

“メモリースティック デュオ”

“メモリスティック デュオ”を入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット（初期化）した“メモリースティック デュオ”を入れている場合は、本機で初期化する（48ページ）。

“メモリースティック デュオ”の画像消去、フォーマットができない。

- 編集画面では、削除する静止画を1度に100枚までしか選択できません。
- 他機でプロテクトをかけた静止画は削除できません。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う（105ページ）。

撮影

「“メモリースティック デュオ”」（93ページ）もご覧ください。

スタート/ストップボタンやフォトボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっている。電源スイッチをずらして（動画）ランプまたは（静止画）ランプを点灯させる（22ページ）。
- 直前に撮影した画像をハードディスクに書き込んでいる。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- 本機のハードディスクの空き容量がない。不要な画像を削除する（36ページ）。
- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えている（55、104ページ）。不要な画像を削除する（36ページ）。
- [落下検出]（61ページ）動作中は、撮影できないことがあります。

- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、温かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。

静止画を撮影できない。

- 再生画面になっている。撮影画面にする（23ページ）。
- 動画撮影中は静止画は3枚までしか撮影できません（DCR-SR300）。
- "メモリースティック デュオ"の空き容量がない。新しい"メモリースティック デュオ"を入れるか、初期化する（48ページ）。または不要な静止画を削除する（37ページ）。
- 次の設定のとき、静止画を記録することはできません。
  – [なめらかスロー録画]（DCR-SR300）
  – [フェーダー]
  – [デジタルエフェクト]
  – [P.エフェクト]

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をハードディスクに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

フラッシュが発光しない。

- 次の設定のとき、フラッシュ撮影はできません。
  – 動画撮影中に静止画を記録するとき
  – コンバージョンレンズやフィルター（別売り）装着時
- 自動調節や◉（自動赤目軽減）にしていても、次の設定のときフラッシュは自動発光しません。
  – NightShot
  – [SUPER NIGHTSHOT]
  – [シーンセレクション]の[夜景]、[キャンドル]、[日の出＆夕焼け]、[打ち上げ花火]、[風景]、[スポットライト]、[ビーチ]、[スノー]
  – [カメラ明るさ]が[マニュアル]のとき
  – [スポット測光]

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像など、被写体によっては録画可能時間が短くなる（52ページ）。

録画が止まる。

- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、温かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- 本機に振動を与えつづけると録画が停止することがあります。

スタート/ストップボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- 本機では、スタート/ストップボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがある。故障ではありません。

オートフォーカスができない。

- [フォーカス]を[オート]にする（64ページ）。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる（64ページ）。

手ブレ補正ができない。

- [手ブレ補正]を[入]にする（53ページ）。
- [手ブレ補正]が[入]になっていても、手ブレが大きすぎると補正しきれないことがある。

逆光補正ができない。

- シンプル操作中は逆光補正ができません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える（DCR-SR300）。

- フォーカルプレーンという現象で、故障ではありません。撮像素子（CMOSセンサー）の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、非常に速く画像を横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。

- ［S. NIGHTSHOT PLS］（DCR-SR62）/［SUPER NIGHTSHOT］（DCR-SR300）、［COLOR SLOW SHTR］のときに出る現象で、故障ではありません。

画像の色が正しくない。

- NIGHTSHOT PLUSスイッチ（DCR-SR62）/NIGHTSHOTスイッチ（DCR-SR300）を「切」にする（26ページ）。

画面が白すぎて画像が見えない。

- NIGHTSHOT PLUSスイッチ（DCR-SR62）/NIGHTSHOTスイッチ（DCR-SR300）を「切」にする（26ページ）。

画面が暗すぎて画像が見えない。

- 画面表示/バッテリーインフォボタンを押したままにして液晶画面バックライトを点灯させる（18ページ）。

暗い場所でキャンドルライトや照明を撮影すると、縦に尾を引いたような画像になる（DCR-SR62）。

- 被写体と背景のコントラストが強すぎるとこのような症状が現れることがあります。故障ではありません。

横帯が現れる（DCR-SR300）。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。

明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる（DCR-SR62）。

- スミア現象と呼ばれるもので、故障ではありません。

画像がちらつく（フリッカー）（DCR-SR62）。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る（DCR-SR62）。

- ［手ブレ補正］を［切］にする（53ページ）。

[S. NIGHTSHOT PLS]ができない（DCR-SR62）。

- NIGHTSHOT PLUSスイッチが「入」になっていない。

[SUPER NIGHTSHOT]ができない（DCR-SR300）。

- NIGHTSHOTスイッチが「入」になっていない。

[COLOR SLOW SHTR]が正しくできない。

- まったく光のない場所では、［COLOR SLOW SHTR］が正しく働かないことがあるため、NightShot plusまたは［S. NIGHTSHOT PLS］（DCR-SR62）、NightShotまたは［SUPER NIGHTSHOT］（DCR-SR300）で撮影する。

[パネルBLレベル]を調節できない。

- 次のとき、[パネルBLレベル]は調節できません。
  – 液晶画面を外側に向けて本体におさめているとき
  – ACアダプターを使用しているとき

本機での再生

“メモリースティック デュオ”の静止画が再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合がある（ファイル名が点滅）。故障ではありません（106ページ）。
- 他機で撮影した静止画は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されないことがある。故障ではありません（106ページ）。

ビジュアルインデックスの静止画に ? が表示される。

- データの読み出しに失敗した可能性がある。電源を切ってもう一度入れたり、“メモリースティック デュオ”を2、3回入れ直したりすると正しく表示される場合がある。
- 他機で撮影した静止画や、パソコンで画像加工した静止画などはこのように表示されることがある。

音声が小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする（30ページ）。
- 液晶画面を閉じていると音声は出ません。液晶画面を開く。
- [マイク基準レベル]（68ページ）を[低]にして記録すると、音声が小さくなる場合がある。
- なめらかスロー録画で記録中の約3秒間は音声を記録できません（DCR-SR300）。

本機での編集

編集できない。

- 画像が記録されていない。
- 画像の状態により編集ができなくなっている。

プレイリストに追加できない。

- ハードディスクの空き容量がない、または追加した動画数が99を超えている。不要な動画を削除する（41ページ）。
- 静止画はプレイリストに追加できません。

分割できない。

- 極端に記録時間の短い動画は分割できません。
- 他機でプロテクトをかけた動画は分割できません。

ハードディスクの画像を“メモリースティック デュオ”に取り込めない。

- 本機では、再生中のハードディスクの動画を“メモリースティック デュオ”に静止画として取り込むことはできません。

ダビング/外部機器接続

音声が聞こえない。

- S（S1、S2）映像プラグだけでつないでいるため。AV接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ（33ページ）。

テレビにつないで見るときに正しい画像の比率で再生できない。

- [TVタイプ]をテレビに合わせて設定する（34ページ）。

AV接続ケーブルを使ってダビングができない。

- AV接続ケーブルが正しくつながれていない。他機の入力端子へつながれているか確認する（43ページ）。

パソコンとの接続

ハードディスクの画像を扱うときに、本機がパソコンに認識されない。

- Picture Motion Browserをインストールする（71ページ）。
- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を取り外す。
- パソコンとハンディカムステーションからケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンとハンディカムステーションをつなぐ。
- パソコンのメディア監視ツールが起動している事を確認してください。メディア監視ツールについて詳しくは、Picture Motion Browserのヘルプをご覧ください。

Macintoshで付属のソフトウエア、Picture Motion Browserが使えない。

- Picture Motion BrowserはMacintoshでは使えません。

ワンタッチ ディスク機能が動作しない。

- Picture Motion Browserをインストールする（71ページ）。
- パソコンのメディア監視ツールが起動している事を確認してください。メディア監視ツールについて詳しくは、Picture Motion Browserのヘルプをご覧ください。

本機の画像がパソコンで見られない。

- USB端子の向きを確かめて、ハンディカムステーションに奥までしっかりと入れる。
- ホームメニューで（その他の機能）→［パソコン接続］→［パソコン接続］を選択する（78ページ）。
- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を取り外す。

"メモリースティック デュオ"の画像がパソコンで見られない。

- "メモリースティック デュオ"の向きを確かめて、本機に奥までしっかりと入れる。
- ホームメニューで（その他の機能）→［パソコン接続］→［パソコン接続］を選択する（81ページ）。
- ［パソコン接続］で接続している場合は、"メモリースティック デュオ"の静止画をパソコンで見ることはできません。［パソコン接続］で接続していることを確認してください。
- ハードディスク内の画像の再生中や編集中など、本機を操作していると"メモリースティック デュオ"はパソコンに認識されません。本機の操作を終了してから、本機とパソコンをもう一度つなぐ。

"メモリースティック"のアイコン（［リムーバブル ディスク］）がパソコン画面に表示されない。

- 本機に"メモリースティック デュオ"を入れる。
- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を取り外す。
- ホームメニューで（その他の機能）→［パソコン接続］→［パソコン接続］を選択する（81ページ）。
- ハードディスク内の画像の再生中や編集中など、本機を操作していると"メモリースティック デュオ"はパソコンに認識されません。本機の操作を終了してから、本機とパソコンをもう一度つなぐ。

Picture Motion Browserが正しく動作しない。

- Picture Motion Browserを終了し、Windowsパソコンを再起動する。

本機の画像や音声がパソコンで正しく再生されない。

- Hi-speed USB（USB2.0準拠）に未対応のパソコンに接続した場合は、正しく再生されない場合がある。なお、パソコンに取り込む画像や音声に影響はありません。
- お使いのパソコンによっては、再生画像や音声が一時的に停止することがある。なお、パソコンに取り込む画像や音声に影響はありません。

再生画面が止まる、乱れる。

- 必要なパソコン環境を確認する（70ページ）。

実際に表示される画面やメッセージが記載と異なる。

- 画面やメッセージは実際と異なる場合があります。

パソコンでファイルの拡張子が表示されない。

- 次の手順で表示させる。
  1. フォルダウィンドウの［ツール］→［フォルダオプション］→［表示］タブをクリック。
  2. 詳細設定の中の「登録されている拡張子は表示しない」（Windows 2000の場合は「登録されているファイルの拡張子は表示しない」）のチェックをはずす。
  3. ［OK］をクリック。

かんたんPCバックアップを行っているときに、パソコンの画面に［取り込み先のパソコンのハードディスクの空き容量が足りません。］と表示される。

- パソコンから不要なファイルを削除して、ハードディスクの空き容量を増やす。

同時に使えない機能一覧

下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能	以下を設定してあるため
逆光補正	［シーンセレクション］の［打ち上げ花火］、［カメラ明るさ］の［マニュアル］、［スポット測光］
ワイド切換	［オールドムービー］
［手ブレ補正］	［なめらかスロー録画］*
［オートスロシャッタ］	［S. NIGHTSHOT PLS］**、［SUPER NIGHTSHOT］*、［COLOR SLOW SHTR］、［デジタルエフェクト］、［シーンセレクション］、［なめらかスロー録画］*
［スポットフォーカス］	［シーンセレクション］
［テレマクロ］	［シーンセレクション］
［カメラ明るさ］	NightShot plus**、［S. NIGHTSHOT PLS］**、NightShot*、［SUPER NIGHTSHOT］*
［スポット測光］	NightShot plus**、［S. NIGHTSHOT PLS］**、NightShot*、［SUPER NIGHTSHOT］*

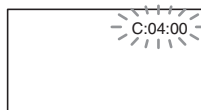
使えない機能	以下を設定してあるため
[シーンセレクション]	NightShot plus**、[S. NIGHTSHOT PLS]**、NightShot*、[SUPER NIGHTSHOT]*、[COLOR SLOW SHTR]、[オールドムービー]、[テレマクロ]、[フェーダー]
[ホワイトバランス]	NightShot plus**、[S. NIGHTSHOT PLS]**、NightShot*、[SUPER NIGHTSHOT]*
[ホワイトバランス]の[ワンプッシュ]	[なめらかスロー録画]*
[COLOR SLOW SHTR]	[フェーダー]、[デジタルエフェクト]、[シーンセレクション]
[S. NIGHTSHOT PLS]**	[フェーダー]、[デジタルエフェクト]
[SUPER NIGHTSHOT]*	[フェーダー]、[デジタルエフェクト]
[フェーダー]	[S. NIGHTSHOT PLS]**、[SUPER NIGHTSHOT]*、[COLOR SLOW SHTR]、[デジタルエフェクト]、[シーンセレクション]の[キャンドル]と[打ち上げ花火]
[デジタルエフェクト]	[S. NIGHTSHOT PLS]**、[SUPER NIGHTSHOT]*、[COLOR SLOW SHTR]、[フェーダー]
[オールドムービー]	[シーンセレクション]、[P.エフェクト]
[P.エフェクト]	[オールドムービー]

* DCR-SR300

** DCR-SR62

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面には、次のように表示されます。お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンター（最後のページ）にお問い合わせください。

C:（またはE:）□□:□□（自己診断表示）

C:04:□□

- “インフォリチウム”以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーを使う（107ページ）。
- ACアダプターのDCプラグをハンディカムステーションまたは本機のDC IN端子にしっかりつなぐ（13ページ）。

C:13:□□/C:32:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作し直す。
- 電源を入れ直す。

E:20:□□ / E:31:□□ / E:61:□□ / E:62:□□ / E:91:□□ / E:94:□□

- 修理が必要なため、テクニカルインフォメーションセンター（最後のページ）にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

101-0001（ファイル関連の警告）

遅い点滅

- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル。

（本機のハードディスクに関する警告）*

速い点滅

- 本機のハードディスクドライブに異常が発生した可能性がある。

（本機のハードディスクに関する警告）*

速い点滅

- 本機のハードディスクドライブの容量がいっぱいである。
- 本機のハードディスクドライブに異常が発生した可能性がある。

（バッテリー残量に関する警告）

遅い点滅

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがある。

（温度の上昇関連の警告）

遅い点滅

- 本機の温度が上昇中である。
電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

速い点滅*

- 本機の温度が著しく上昇している。
電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

（温度の低下関連の警告）*

速い点滅

- 本機の温度が著しく低下している。
本機を暖める。

（“メモリースティック デュオ”関連の警告）

- “メモリースティック デュオ”が入っていない（26ページ）。

(“メモリースティック デュオ”初期化関連の警告）*

- “メモリースティック デュオ”が壊れている。
- “メモリースティック デュオ”が正しく初期化されていない（48、105ページ）。

(非対応“メモリースティック デュオ”関連の警告）*

- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”を入れた（105ページ）。

(“メモリースティック デュオ”誤消去防止に関する警告）*

- “メモリースティック デュオ”が誤消去防止状態になっている（105ページ）。
- 他機でアクセスコントロールをかけた“メモリースティック デュオ”を使っている。

(フラッシュ関連の警告）

速い点滅

- フラッシュに異常がある。

(手ブレ警告）

- 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使う。
- 手ブレが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ブレマークは消えません。

(落下検出警告）

- 落下検出機能（61ページ）が有効で、かつ落下を検出したため、ハードディスクを保護する処理を実行している。画像の撮影/再生ができなくなることがあります。
- 本機能は、すべての状況からの保護を保証するものではありません。本機を安定した状態に保ってご使用ください。

* 警告表示・お知らせメッセージが出るときに、「操作音」が鳴ります（58ページ）。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

■ ハードディスク

HDDがフォーマットエラーです

- 本機のハードディスクが、出荷時と異なるディスクフォーマットになっている。[初期化]（47ページ）を行うと使えることがある。その場合データはすべて消去される。

データエラーが発生しました

- 本機のハードディスクへの書き込み中、または読み出し中にエラーが生じた。本機に振動を与えつづけたときに、発生することがあります。

管理ファイルが破損しています　新規作成しますか？

- 画像管理用ファイルが破損している。[はい]をタッチすると管理ファイルが新規作成されます。本機のハードディスクにある過去に撮影した画像が、本機で再生できなくなります（画像ファイルは壊れません）。
  この場合、パソコンに画像ファイルをコピーしてください。

バッファオーバー

- 落下検出が繰り返されたため、録画できない。落下が繰り返し発生する環境で撮影する場合は、[落下検出]を[切]にすると録画できる場合があります(61ページ)。

データ修復中

- 本機のハードディスクに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みる。

データを修復できませんでした

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。本機のハードディスクへの書き込みや編集ができなくなる場合がある。

■ “メモリースティック デュオ”

メモリースティックを入れなおしてください

- “メモリースティック デュオ”を2、3回入れ直す。それでも表示されるときは“メモリースティック デュオ”が壊れている可能性があるので交換する。

このメモリースティックはフォーマットが違います

- “メモリースティック デュオ”のフォーマットを確認し、必要ならば本機で初期化する(48、105ページ)。

メモリースティックのフォルダがいっぱいです

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダの作成、消去はできません。
- 初期化するか(48ページ)、パソコンで不要なフォルダを消去する。

静止画の記録ができませんでした

- デュアル記録をしたときは、ディスク撮影を終了して静止画記録が完了するまで、本機から“メモリースティック デュオ”を取り出さない(25ページ)。

■ PictBridge対応プリンター

PictBridge対応プリンターと接続されていません

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう一度つなぐ。

プリントできません　プリンターを確認してください

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう一度つなぐ。

■ その他

これ以上選択できません

- 次のときは1度に100個までしか画像を選択できません。
  - 画像の削除
  - 静止画の印刷

このデータはプロテクトされています

- 他の機器でプロテクトされた静止画を削除しようとした。プロテクトをかけた機器で解除する。

このチャプターは分割できません*

- 極端に短い動画は分割できません。

* 本機では、スタート/ストップボタンを押して記録を開始してから終了するまでの画像の区切りのことをチャプターと言います。

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V、50/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

カラーテレビ方式について

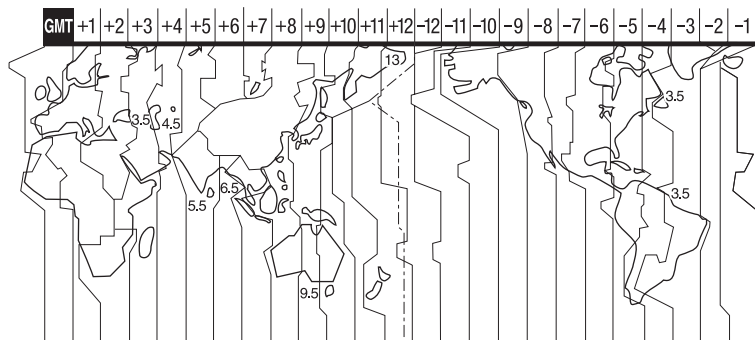
再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC、下記参照）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

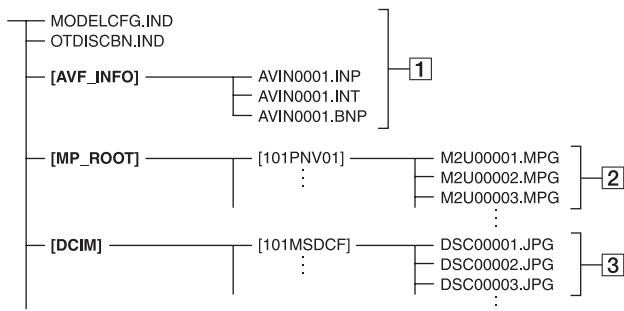
テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

現地の時間に合わせるには

海外で使うときは、ホームメニューの（設定）→［時計設定］の［エリア設定］と［サマータイム］を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます（60ページ）。

世界時刻表

ハードディスクのファイル/フォルダ構成

本機のハードディスク上のファイル/フォルダ構成は以下のとおりです。本機を使って撮影/再生する際は、通常、意識する必要はありません。
パソコンとつないで撮影した動画や静止画を楽しむには、69ページをご覧になり、付属のソフトウェアを使用してください。

1 画像管理用ファイル
削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。
隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

2 動画ファイル（MPEG2ファイル）
拡張子は「.MPG」。ファイルサイズの上限は2GBです。2GBを超えると自動でファイルが分割されます。
ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダが作成されて、新しい動画ファイルはそちらに記録されます。
フォルダ名は、「101PNV01」→「102PNV01」のように繰り上がります。

3 静止画ファイル（JPEGファイル）
拡張子は「.JPG」。ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダが作成されて、新しい静止画ファイルはそちらに保存されます。
フォルダ名は、「101MSDCF」→「102MSDCF」のように繰り上がります。

- 本機のハードディスクは、[USB機能選択]で[パソコン接続]を選択して、本機とパソコンをUSB接続することで、パソコンからアクセス可能になります。
- 付属のソフトウェアを使わずに、パソコンから本機のファイルやフォルダを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。
- 付属のソフトウェアを使わずに、パソコンから本機のハードディスク上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- パソコンから本機のハードディスクをフォーマット（初期化）しないでください。正常に動作しなくなります。
- パソコンの画面でファイルの拡張子が表示されていない場合は、98ページをご覧ください。
- パソコンから本機のハードディスクにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- フォルダ番号が999に達し、かつファイル番号が9999に達したとき、撮影できなくなる場合があります。この場合は、[初期化]（47ページ）してください。

使用上のご注意とお手入れ

"メモリースティック"について

"メモリースティック"("Memory Stick")は小さくて軽い大容量のIC記録メディアです。
本機は、標準の"メモリースティック"の約半分の大きさの"メモリースティック デュオ"のみ使えます。ただし、すべての"メモリースティック デュオ"の動作を保証するものではありません。

"メモリースティック"の種類	記録/再生
メモリースティック(マジックゲート非対応)	—
メモリースティックデュオ*1(マジックゲート非対応)	○
マジックゲートメモリースティック	—
メモリースティックデュオ*1(マジックゲート対応)	○*2*3
マジックゲートメモリースティックデュオ*1	○*3
メモリースティックPRO	—
メモリースティックPRO デュオ*1	○*2*3

*1 標準の約半分大のサイズです。

*2 高速データ転送に対応した"メモリースティック"です。転送速度はお使いになる機器により異なります。

*3 "マジックゲート"とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能を使ったデータは記録/再生できません。

- 静止画の圧縮形式:本機は、撮影した静止画データをJPEG(Joint Photographic Experts Group)方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「.JPG」です。
- 静止画の画像のデータファイル名:
  - 本機の画面表示:101-0001
  - パソコンの画面表示:DSC00001.JPG
- パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)した"メモリースティック"は、本機での動作を保証いたしません。
- お使いの"メモリースティック"と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。

誤消去防止スイッチ付き"メモリースティック デュオ"では

先の細いものでスライドさせて、「LOCK」にすると、記録されているデータを誤って消去しないようにできます。

取り扱い上のご注意

次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。

- 画像ファイルを読み込み中や、"メモリースティック デュオ"にデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、"メモリースティック デュオ"を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合

大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。

■ 取り扱いについて

次のことを守ってください。

- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- "メモリースティック デュオ"本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、"メモリースティック デュオ"に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。
- メモリースティック デュオ スロットには、"メモリースティック デュオ"以外は入れないでください。故障の原因となります。

■ 使用場所について

次の場所での使用や保管は避けてください。

- 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■ メモリースティック デュオ アダプターの使用について

"メモリースティック デュオ"をメモリースティック デュオ アダプターに挿入すると、標準の"メモリースティック"対応機器でもお使いになれます。

- "メモリースティック デュオ"を"メモリースティック"対応機器でお使いの場合は、必ず"メモリースティック デュオ"をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。
- "メモリースティック デュオ"をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。また、逆向きで無理に入れると、メモリースティック デュオ スロットが破損し故障の原因となります。
- メモリースティック デュオ アダプターに"メモリースティック デュオ"が装着されない状態で、"メモリースティック"対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

■ "メモリースティック PRO デュオ"についてのご注意

- 本機で動作確認されている"メモリースティック PRO デュオ"は4GBまでです。
- 使用可能な"メモリースティック"の最新情報につきましてはホームページ上の「メモリースティック対応表」をご確認ください(最後のページ)。

画像の互換性について

- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900、DSC-D700/D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した"メモリースティック デュオ"が本機で使えないときは、48ページの手順にしたがって、本機で初期化をしてください。初期化すると"メモリースティック デュオ"に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  - パソコンで加工した画像データ
  - 他機で撮影した画像データ

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は"インフォリチウム"バッテリー(Hシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。"インフォリチウム"バッテリーHシリーズには InfoLITHIUM H マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは?

"インフォリチウム"バッテリーは、本機や別売りのACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
"インフォリチウム"バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10～30℃の範囲で、充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACアダプターをハンディカムステーションまたは本機のDC IN端子から抜き、バッテリーを取り外してください。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  - バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける
  - 高容量バッテリー「NP-FH70/FH100」(別売り)を使う
- 液晶パネルの使用や再生/早送り/早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FH70/FH100」(別売り)のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、ホームメニューの (設定)→[一般設定]→[自動電源オフ]→[なし]に設定し、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(61ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やレンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面を傷めます。

■ 長時間使用しないときは

- 本機の性能を維持するために定期的に電源を3分間入れ、撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

■ 結露が起きたときは

電源を切って、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立の後
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でお使いになると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

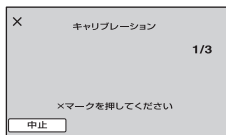
■ お手入れ

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。
別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶パネルにかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

タッチパネルの調節(キャリブレーション)について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。
このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ってください。

① 本機の電源を入れ、(ホーム)ボタンを押す。

② ホームメニューの(設定)→[一般設定]→[キャリブレーション]をタッチする。

③ "メモリースティック デュオ"の角のような先の細いものを使って、画面に表示される×マークをタッチする。
解除するには[中止]をタッチする。
×マークの位置は変わります。

正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

ご注意

- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶画面を傷つける場合があります。
- 液晶画面を反転させているときや、外側に向けて本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う
  - ゴムやビニール製品との長時間接触

カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、**3か月近く**まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切(充電)」にして24時間以上放置する。

“メモリースティック デュオ”を廃棄／譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック デュオ”内のデータは完全には消去されないことがあります。“メモリースティック デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また“メモリースティック デュオ”を廃棄するときは、“メモリースティック デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

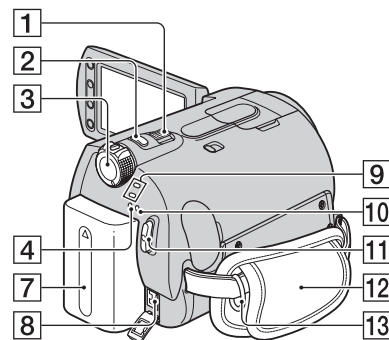
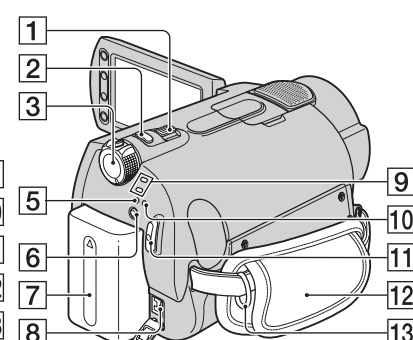
当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

各部のなまえ

（　）内は参照ページです。

DCR-SR62：

DCR-SR300：

1 ズームレバー（24、31）

2 フォトボタン（19、23）

3 電源スイッチ（16）

4 充電ランプ（13）

5 充電/⚡ランプ（13、25）

6 ⚡（フラッシュ）ボタン（25）

7 バッテリーパック（13）

8 DC IN端子（13）

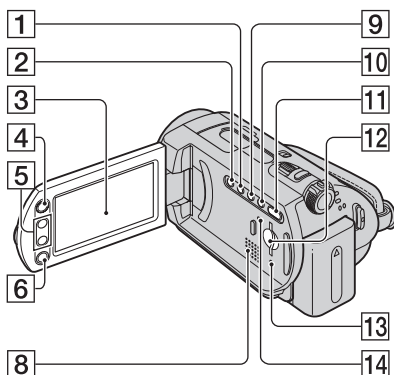
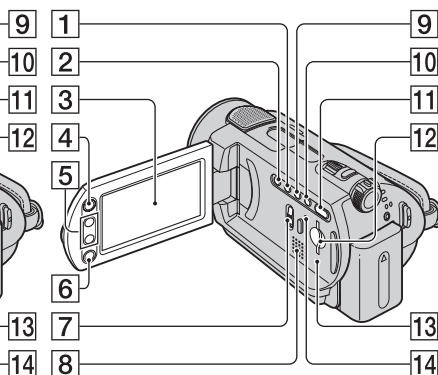
9 🎞（動画）ランプ/📷（静止画）ランプ（19、22）

10 アクセスランプ（ハードディスク）（22）

11 スタート/ストップボタン（19、23）

12 グリップベルト（18）

13 ショルダーベルト取り付け部

ショルダーベルト（別売り）を取り付けます。

1 ワイド切換ボタン（27）

2 逆光補正ボタン（27）

3 液晶画面/タッチパネル（18）

4 (ホーム)ボタン（10、50）

5 ズームボタン（24、31）

6 スタート/ストップボタン（19、22）

7 NIGHTSHOTスイッチ（26）

8 スピーカー

音量調節については、30ページをご覧ください。

9 画面表示/バッテリーインフォボタン（14、18）

10 シンプルボタン（19）

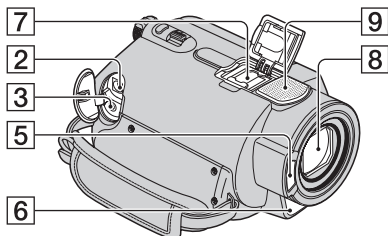
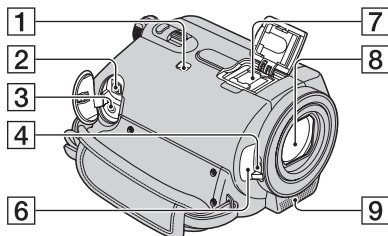
11 (画像再生)ボタン（20、29）

12 メモリースティック デュオスロット（26）

13 アクセスランプ（“メモリースティック デュオ”）（26）

14 RESET（リセット）ボタン

日時を含めすべての設定が解除される。

DCR-SR62：　　　　DCR-SR300：

1 NIGHTSHOT PLUSスイッチ（26）

2 A/V OUT端子（33、43）

3 REMOTE端子

別売りのアクセサリーを接続します。

4 レンズカバースイッチ（18）

5 フラッシュ発光部（25）

6 リモコン受光部／赤外線発光部

リモコン（115ページ）は、リモコン受光部に向けて操作します。

7 アクティブインターフェースシュー
Active Interface Shoe

専用マイクや別売りのフラッシュなどを使うときに、本機から電源供給し、本機の電源スイッチに連動して接続機器の電源の入/切ができます。お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。

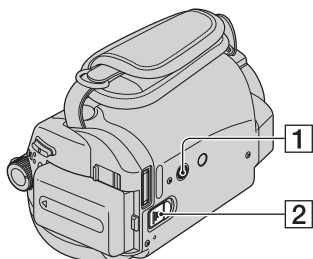
接続機器が外れにくい構造になっています。取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、ネジを確実に締め付けてください。取りはずすときは、ネジをゆるめ、上から押しながら外してください。

- 別売りのフラッシュを付けたまま撮影するときは、充電音が録音されないように、フラッシュの電源を切ってください。
- 別売りのフラッシュと内蔵フラッシュは同時に使えません。
- 外部マイクをつなぐと、その音声が内蔵マイクよりも優先されます（24ページ）。

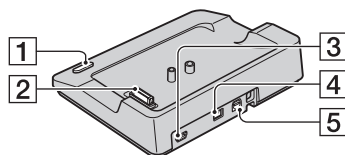
8 レンズ（カールツァイスレンズ搭載）（3）

9 内蔵マイク（24）

外部マイクをつないだときは、その音声が優先されます。

ハンディカムステーション：

1 三脚用ネジ穴

三脚（別売り、ネジの長さが5.5mm以下）を三脚用ネジ穴に取り付ける。

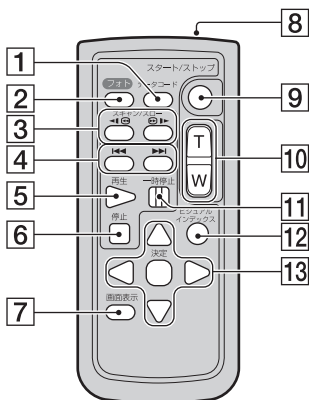
2 BATT（バッテリー）取り外しつまみ（14）

1 ワンタッチ ディスクボタン（74）

2 インターフェースコネクタ

3 ψ（USB）端子（44、74、78）

4 DC IN端子（13）

5 A/V OUT端子（33、43）

ワイヤレスリモコン

1 データコードボタン（57）

再生中に押すと、日付時刻データ/カメラデータを表示する。

2 フォトボタン（19、23）

押したときの画像が静止画として記録される。

3 スキャン/スローボタン（20、30）

4 ⏮ ⏭（前の画像/次の画像）ボタン（21、30）

5 再生ボタン（20、30）

6 停止ボタン（20、30）

7 画面表示ボタン（18）

8 リモコン発光部

9 スタート/ストップボタン（19、23）

10 ズームボタン（24、31）

11 一時停止ボタン（20、30）

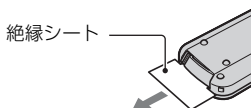
12 ビジュアルインデックスボタン（20、29）

再生中に押すと、ビジュアルインデックス画面を表示する。

13 ◀ / ▶ / ▲ / ▼ / 決定ボタン

ビジュアルインデックス/プレイリスト画面で、いずれかのボタンを押すと、本機の画面にオレンジ色の枠が表示される。◀ / ▶ / ▲ / ▼で画面上の希望のボタンまたは項目を選び、決定ボタンを押す。

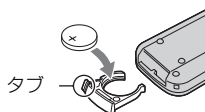
ご注意

- 絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

- 本機前面のリモコン受光部に向けて操作してください（113ページ）。
- 一定時間リモコンからの操作がないと、オレンジ色の枠は消えます。再び ◀ / ▶ / ▲ / ▼ または決定ボタンのいずれかを押すと、最後に表示されていた位置に枠が表示されます。
- ◀ / ▶ / ▲ / ▼ で操作できないボタンもあります。

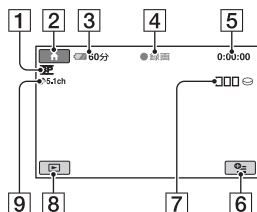
リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引出す。

② ＋面を上にして新しい電池を入れる。

③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

画面表示

動画を撮影中

1 録画モード(HQ/SP/LP)(52)

2 ホームボタン(10,50)

3 バッテリー残量の目安(14)

4 撮影状態([スタンバイ]/[●録画])

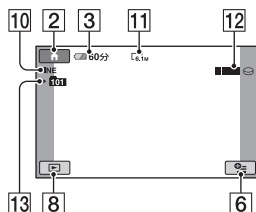
5 カウンター(時:分:秒)

6 オプションボタン(62)

7 デュアル記録(DCR-SR300)(25)

8 画像再生ボタン(20,29)

9 5.1chサラウンド記録(DCR-SR300)(24)

静止画を撮影中

10 画質([FINE]/[STD])(55)

11 画像サイズ(54)

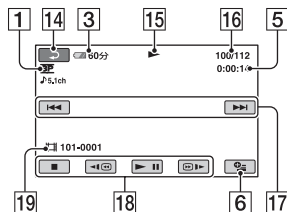
12 静止画記録中

13 記録フォルダ

静止画の記録先が"メモリースティック デュオ"のときのみ表示されます。

ちょっと一言

- デュアル記録時には、動画と静止画の撮影画面表示が同時に現れます。表示される位置は、通常操作の画面表示とは若干異なります(DCR-SR300)。
- "メモリースティック デュオ"に記録した静止画の枚数が多くなると、自動的に新しいフォルダを作成し画像を保存します。

動画を再生中

1 録画モード(HQ/SP/LP)(52)

3 バッテリー残量の目安(14)

5 カウンター(時:分:秒)

6 オプションボタン(62)

14 戻るボタン

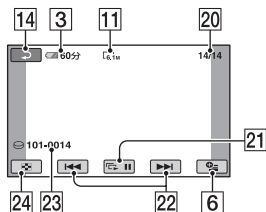
15 再生表示

16 再生中の動画の番号/記録している動画の数

17 前の画像/次の画像ボタン(20、30)

18 動画操作ボタン(20、30)

19 データファイル名

静止画を再生中

11 画像サイズ(54)

20 再生中の静止画の番号/記録している静止画の数

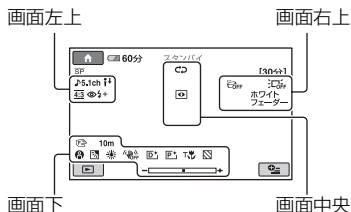
21 スライドショーボタン(32)

22 前の画像/次の画像ボタン(21、30)

23 データファイル名

24 ビジュアルインデックス表示ボタン(20、29)

液晶画面の表示

撮影/再生中や、設定を変更したときに次の表示が出ます。

画面左上

表示	意味
♪5.1ch	5.1chサラウンド記録/再生*(24)
	セルフタイマー(68)
	フラッシュ(25、56、68)
	マイク基準レベル低(68)
4:3	ワイド切換(27)

画面右上

表示	意味
ホワイト フェーダー　ブラック フェーダー	フェーダー (67)
	液晶バックライト切(18)
	落下検出切(61)
	落下検出中(61)

画面中央

表示	意味
	スライドショー設定(32)
	NightShot plus**/ NightShot*(26)
S	Super NightShot plus**(67) Super NightShot*(67)
	Color Slow Shutter (67)
	PictBridge接続中 (44)
	警告(100)

画面下

表示	意味
	ピクチャーエフェクト (68)
	デジタルエフェクト(68)
	手動フォーカス(64)
	シーンセレクション(65)
	逆光補正(27)
	ホワイトバランス(66)
	手ブレ補正(53)
	カメラ明るさ(65)/ フレキシブルスポット測光(65)
T	テレマクロ(64)
	ゼブラ*(53)

* DCR-SR300
** DCR-SR62

撮影時のデータについて

撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に日付時刻データ/カメラデータとして確認できます(57ページ)。

用語集

■ 5.1chサラウンド音声（5.1チャンネル サラウンド音声）
フロント側（左/右/センター）、リア側（左/右）の5chと、120Hz以下の低域を専門とするサブウーファー0.1chを加えた6つのスピーカーで音を再生します。

■ JPEG（ジェイペグ）
Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画データの圧縮（データ容量を小さくする）方法のことです。本機では、静止画をJPEG形式で記録します。

■ MPEG（エムペグ）
Moving Picture Experts Groupの略で、映像（動画）および音声の符号化（画像圧縮の方法）に関する規格の総称です。MPEG1、MPEG2などの規格があります。本機では動画をMPEG2形式で記録します。

■ VBR
Variable Bit Rate（可変ビットレート）の略で、撮影シーンに合わせてビットレート（一定時間あたりの記録データ量）を自動調節させる記録方式です。動きの速い映像はハードディスクの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、ハードディスクの記録時間は短くなります。

■ サムネイル
多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。本機では、「ビジュアルインデックス」がサムネイルを使った表示方法です。

■ ドルビーデジタル
米ドルビーラボラトリーズ社が開発した音声の符号化（圧縮方法）形式です。

■ ドルビーデジタル5.1クリエーター
米ドルビーラボラトリーズ社が開発した音声圧縮技術です。高音質を維持したまま、音声を効率的に圧縮します。ディスクのスペースを有効に使いながら、5.1chサラウンド音声が作成できます。

■ ビジュアルインデックス
撮影した動画や静止画の一覧を表示して、映像を見ながら再生したい場面を選ぶことができる機能です。

■ フラグメンテーション
ハードディスク内のファイルが断片化されることです。フラグメンテーションが起きると、画像が正しく保存できなくなることがあります。[初期化]（47ページ）を行うと断片化が解消されます。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

各部のなまえ・用語集・索引

数字

商標について

- “ハンディカム”、HANDYCAMはソニー株式会社の登録商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK、“メモリースティック デュオ”、MEMORY STICK DUO、“メモリースティック PRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“マジックゲート”、MAGICGATE、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート　メモリースティック”、“MagicGateMemory Stick Duo”、“マジックゲート　メモリースティック デュオ”はソニー株式会社の商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- DVD-R、DVD+R DL、DVD-RW、DVD+RWロゴは商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ドルビーデジタル5.1クリエーターはドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows MediaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Media Playerは、Microsoft Corporationの商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- MacromediaおよびMacromedia Flash Playerは、Macromedia Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe System Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA. L.L.C.,(住所:250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206)より取得可能です。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウエアである「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」が搭載されております。当該ソフトウエアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」の記載(英文)が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウエアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名 HDR-UX1/HDR-SR1をお選びください。

http://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載（英文）が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.adobe.com/

■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

ハンディカムの最新サポート情報
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)
http://www.sony.co.jp/cam/support/

ハンディカムホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

メモリースティック対応表
http://www.sony.co.jp/mstaiou
使用可能な"メモリースティック"を確認することができます。

付属ソフトウェア(Picture Motion Browser)のサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる(おかけ間違いにご注意ください)

テクニカルインフォメーションセンター

- **ナビダイヤル** 0570-00-0066
  (全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
- **携帯電話・PHSでのご利用は** 0466-38-0253
  (ナビダイヤルが使用できない場合はこちらをご利用ください)

受付時間: 月～金曜日 午前9時～午後8時 土、日曜日、祝日 午前9時～午後5時
お電話の際は、本機をお手元にご用意ください。

修理のお申し込み

指定宅配便での修理品のお引き取りから修理後の製品のお届けまでを一括して行います。テクニカルインフォメーションセンターへお電話いただくか、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

> 登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
> 詳しくは下記のURLをご覧ください。
> http://www.sony.co.jp/cam/contact/

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1 http://www.sony.co.jp/